

平成23年度優先度判定パブリックコメント結果

No.	属性	年代	府省名	施策番号	施策名	ご意見概要	ご意見	その理由
4801	その他	～19歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、大幅な拡充は必要である。	新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度である。
4802	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学技術立国としての根幹となる予算であり、継続的にきわめて優先度の高い事項として位置づけられるべき。	科学研究は、純粋な工学技術とは異なり、国からの研究費のサポートなくしては成り立たない。産業や工業が科学の上に成り立っていることから、基礎学問の活性は重要である。
4803	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24114	(独)宇宙航空研究開発機構「地球環境予測・統合解析に向けた衛星観測データの高度化」	このまま推進すべき	これからもぜひ推進すべきだと思います。	本プログラムは、貴重な衛星観測データを活用するために有効であるから。
4804	民間企業	50～59歳	文部科学省	24114	(独)宇宙航空研究開発機構「地球環境予測・統合解析に向けた衛星観測データの高度化」	このまま推進すべき	気候変動をいち早く捉える基本的な事業であり、世界で排出削減をリードする日本としては削ってはならない事業である。	宇宙科学技術はその裾野が広く応用範囲も広い。NASAの例を見るまでもなく様々な問題、課題の解決や日本の技術を高める源泉になることもあわせて述べさせていただきます。
4805	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	このまま推進すべき	若手研究者が自立して研究できる環境を整備することは重要である。	研究者養成の支援策として必要である。
4806	その他	～19歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	我が国の研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、予算規模を拡充すべきである	大学等の研究費が減少するなかで、公的な研究資金による研究支援は必要である
4807	民間	50～	文部科学	24137	アルマ計画	このまま推進	この基礎研究は国際貢献であること、結果は科学する青	宇宙科学技術はその裾野が広く応用範囲も広い。NASAの例を見るまでもなく様々な問題、課

	企業	59歳	省		の推進	すべき	少年を育てることにもなり是非とも継続願いたい。	題の解決や日本の技術を高める源泉になることもあわせて述べさせていただきます。
4808	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	これからもぜひ推進すべきだと思います。PDF詳細版の「革新的技術の基盤となる」などの文言をそれほど頻出させなくともよいのではないかと思います。	本プログラムは、学問の推進のために不可欠であるから。
4809	民間企業	50～59歳	文部科学省	24169	我が国の宇宙技術の世界展開	このまま推進すべき	世界および国家の安全保障上、防災、環境監視、国土管理、資源管理の管理を宇宙から行っていくことは、国家戦略上大切であると考えます。国際貢献と、国家の環境戦略を後押しする意味でも継続をお願いしたい。	宇宙科学技術はその裾野が広く応用範囲も広い。NASAの例を見るまでもなく様々な問題、課題の解決や日本の技術を高める源泉になることもあわせて述べさせていただきます。
4810	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	我が国の研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、予算規模を拡充すべきである。	新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度である。
4811	その他	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、大幅な拡充は必要である。	新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度である。
4812	民間企業	50～59歳	文部科学省	24170	Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	高温、高放射線環境下に耐用可能な水星磁気圏探査機及び観測装置を開発することは、水星と言った天体の調査だけでなく、原子力発電所の炉心近くの様々な計測にも役に立つものと思う。先進技出の応用の裾野を考慮いただき継続をお願いしたい。	宇宙科学技術はその裾野が広く応用範囲も広い。NASAの例を見るまでもなく様々な問題、課題の解決や日本の技術を高める源泉になることもあわせて述べさせていただきます。
								この提案は、大学・研究機関が“テニュアトラック教員”という名称で博士号取得者を任期付研究職として採用するための研究費を補助するとしている。しかし、その任期が終了した後に常勤職に移行

4813	その他	50 ～ 59 歳	文部 科学 省	24008	テニュアトラ ック普及・定 着事業	推進す べきで はない	この提案は、"博士号取得者の大学・研究機関の常勤職へのキャリアパスの確立"という本質的なポイントを見逃している、あるいは、意図的に避けており、税金を投入する価値がある提案とは思えない。	<p>することを支援するとは一言も述べられていない。この制度によって採用された教員は、単に"テニュアトラック教員"という名称を与えられるだけなのである。目標とすべきことは、博士号取得者の大学・研究機関の常勤職へのキャリアパスを確立する事である。ところが、この提案は、"博士号取得者の大学・研究機関の常勤職へのキャリアパスの確立"という本質的なポイントを、"テニュアトラック教員という名称の任期付研究職の設置"という本質的でないことに置き換えている。拙劣な提案であると言わざるを得ない。</p> <p>また、この提案は、"テニュアトラック教員"を任期付研究職の一形態としているが、これは、米国の大学における"tenure system"の正しい認識とは言えない。米国の大学が"tenure track position"で教員を採用する場合には、基本的には"tenured position"(常勤職)を用意しており、5～7年後にその教員が常勤職に移行することを前提としている。また、米国の大学の"tenure track position"での雇用は、大学教員としての雇用であり、研究員としての雇用ではない。従って、"tenure track position"の教員が"tenured position"(常勤職)に移行するためには、研究・教育・大学運営の全てにおいて、高い水準の実績を挙げることが求められるのである。"</p>
------	-----	--------------------	---------------	-------	-------------------------	-------------------	--	---

4814	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	女性研究者支援室の整備等は、男女参画社会の形成のためにも必要な施策である。	我が国の女性研究者の割合を上げていくことは、新成長戦略のシナリオに沿っている。
4815	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科研費は、我が国の科学技術の根底を支える、きわめて重要な役割を担っており、科学立国としての世界的なポジションを更に高め、築くためにも予算規模の拡充は不可欠の課題であると考えます。	とくに我々若手研究者にとっては、新たな研究に取り組むための極めて貴重な財源であり、その獲得への挑戦は研究に対するモチベーションをさらに高める原動力ともなっている。大学等における研究費の削減に加え、公的な研究支援(競争的資金の獲得機会)までもが弱まれば、研究者の活動基盤は確実に揺らぎ、ひいては我が国の科学技術の将来さえもが危ぶまれるものと考えます。将来を見据え、研究支援の強化・拡充をご検討頂きたい。
4816	その他	～19歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	基礎研究を行う大学、独立行政法人、民間企業の研究所等に在籍する研究者が応募できるもので、研究者が応募しやすい研究資金である	新しい研究の芽を育てるためには、採択率を上げて、多くの研究者を支援する必要がある。
4817	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	国立大学の予算をこれ以上削減すると大学は学費を上げざるをえなくなりかなりの収入のある家庭のお子さんしか大学に進学できなくなります。これは数十年社会が後退することを意味すると思います。奨学金制度も単なる借金であり社会人がいきなり数百万の借金を背負っても、収入が上がる見込みも昔のように無い昨今の状況では若い人にとってあまりに大きなリスクです。地方の振興のためにもせめて県にひとつは健全な国立大学があるべきです。	国立大学の学費がせめて現状程度であることはどんな家に生まれても誰もが医者でも弁護士でも学者でも官僚でもなれるチャンスがあるということです。これ以上急激に学費が上がれば、もともと裕福な家の子供しかそういうチャレンジのスタートラインにつけなくなってしまいます。これは個人の努力で克服できない「真の格差」を定着させることにつながり、結果的に回復がしがたい大きなダメージを日本が誇ってきた科学技術や文化というか

								けがえのない資源に与えることになると思います。
4818	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24115	分子イメージング研究戦略推進プログラム	このまま推進すべき	まだ、日本では、開始されて間もない分野であるが、医療における重要度は、今後ますます増加すると考えられ、組織的に推進すべきである。	日本は、この分野では、出遅れているが、プロジェクトの開始によって認知度は高まってきた。今後、独自性を高め、世界レベルにまで、引き上げる必要があるため
4819	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	<p>○ 我が国の研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、予算規模を拡充すべきである。</p> <p>○ 研究者の研究活動を支援する重要な制度であり、着実な予算確保が必要。</p> <p>○ 基礎研究を行う大学、独立行政法人、民間企業の研究所等に在籍する研究者が応募できるもので、研究者が応募しやすい研究資金である。</p> <p>○ 「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、医歯薬系は特に5歳程度の年齢制限の大幅な拡充を含めて予算増額は必要である。</p>	<p>○ 新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度である。</p> <p>○ 新しい研究の芽を育てるためには、採択率を上げて、多くの研究者を支援する必要がある。</p> <p>○ 大学等の研究費が減少するなかで、公的な研究資金による研究支援は必要である。</p>
4820	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	これからもぜひ推進すべきだと思います。	本プログラムは、多大な実績を有しているから。
4821	大学・公的研究機関	30～	文部科学	24144	私立大学等	このまま推進	我が国は、労働人口が減少しますので、技術進歩率を高める以外に、経済成長を高める方法はないように思わ	唐突ですが、人生80年の時代ですので、人材への投資は、耐久年数の極めて長い「人的資源へのインフラ整備」になると考えております。特に、知的産出物は、経済成長を実現するために必要不可欠だと考えますので、それを実践している大学への投資は、重要だと考えております。特に、私

	(独 法・公 設 試 等)	39 歳	省		経常費補助 すべき		れます。教育と研究に集中 投資することで、技術進歩率 の向上を目指すべきだと考 えております。	立大学は、我が国の大 半を占めますので、私 大への投資は、我が国 の基盤を強化するた めにも、必要不可欠だ と考えます。研究の成 果物は、いつどこで、 どのように役立つかわ かりませんので、文系 と理系を問わず、どの 学部にも、投資するべ きだと考えます。
4822	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設 試 等)	20 ～ 29 歳	文部 科学 省	24014	頭脳循環を 加速する若 手研究者戦 略的海外派 遣事業	このま ま推 進 す べ き	非常に価値のある施策だ と思うので、どんどん進 めてほしい。 特に、研究者としては非 常に初期の段階である博 士課程の学生にも多くの 機会を与えること、およ び、帰国後のポスト確保 にもきちんとしたケアを することをお願いしたい。	長期の海外滞在により 研鑽を積むことは、研 究者として成長するう えで非常に重要だと思 う。私は数学を学んで いる学生であるが、数 学においても文献を通 じて学ぶだけでなく、他 の研究との直接議 論することは非常に重 要だと感じている。博 士課程の学生にも多く の機会を与えるようお 願いしたのは、この時 期が研究者へと離陸 する際の重要な時期だ からである。また、帰 国のポスト確保の難し さから海外での修行を 思いとどまる例が多い ように思うので、帰 国のポスト確保にも十 分なケアをしていただ きたい。
4823	その 他	～ 19 歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このま ま推 進 す べ き	我が国の研究者の研究活 動を支える重要な競争 的資金であり、予算規 模を拡充すべきである	新しい研究テーマにチ ャレンジするため、応募 しやすい研究資金制 度である
4824	民間 企業	40 ～ 49 歳	経済 産業 省	27149	ゲノム創薬 加速化支援 バイオ基礎 技術開発	このま ま推 進 す べ き	資源の乏しい我が国に於 いては「科学・技術立 国」は国の最重要戦略 である。独自の分野で 世界トップに立つ研究 開発が重要であり、そ の中でも世界の先端を 行く、膜タンパク質及 びその複合体の構造解 析技術、高度な計算科 学技術を活用し、ポスト ゲノム研究の産業利用 が期待されるゲノム創 薬を加速させる施策は 大変重要である。	今後 高齢化が進む社 会で、新薬の開発・効率 化は非常に重要な課 題であり、現在の日本 は企業、政府研究機 関、大学は海外に比べ ると 残念ながら大きく 遅れているのが現状 である。今後、絶対に 必要な技術とされる 新薬の開発を進める為 にもゲノム創薬の研究 を推進することで日本 の技術強化に貢献し、 世界をリードする新 薬開発に繋げることが 出来る

							事が期待される。	
4825	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	「若手研究(A・B)」「挑戦的萌芽研究」などの独創的な研究を推進する事業は、ぜひ推進すべきである。一方で、国家財政が逼迫している現状を考えると、上記以外の大型の研究費の削減はやむを得ないだろう。	資源の乏しい日本が国際競争を勝ち抜くためには、他国に真似のできない科学技術を打ち立てることが必須である。そして、独創的な技術は、数々の試行錯誤の上に成り立つ。ある程度小規模な段階で試行錯誤を促進するため、「若手研究(A・B)」「挑戦的萌芽研究」は重要であろう。
4826	民間企業	40～49歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	花粉症のワクチン開発をされているとのことで早急に開発を推進して頂きたい。	花粉症で悩んでいる人は多い。会社でも春に多くの社員が悩んでいる。集中力が落ちて業務効率が落ちる。災害にもつながりかねない。国の総力をあげてワクチン開発に取り組むべきだ。
4827	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	経済産業省	27005	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発(化学品原料の転換・多様化を可能とする革新グリーン技術の開発)	このまま推進すべき	石油資源自体の供給リスクを克服して、汎用的に入手可能な、気体原料や非可食性植物由来原料から有用な化合物を省エネルギー・高効率に製造するプロセスの開発は、今後ますます重要となる。よって一層拡充することが望ましい。	再生可能資源の中で、バイオマス資源は唯一工業原材料供給源となるものであり、とりわけ蓄積量の多い非可食植物バイオマス資源(木質資源)からの有用物資製造システム開発は、今後一層重要となる。
4828	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	大学院における教育機能を強化するための支援策として重要である。	国際社会で通用する人材育成は、我が国の発展のために必要不可欠である。
4829	民間企業	40～49歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー化学総合研究事業	このまま推進すべき	絶対に治る花粉症のワクチンを早く作って欲しいです。	花粉症で毎年つらい思いをしているので、1回飲めば1生飲まなくて済むような薬を開発して欲しいです。
4830	大学・公的研究機関	50～	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グ	このまま推進	当初、配布されていた間接経費30%を復活すべきだと	当初、間接経費によって、大学本部・部局の理解がより有効に得られ、また、直接経費で執行できない経費の執

	(独 法・ 公設 等)	59 歳	省		ローバル COEプロ グラム	す べき	思 い ま す。	行 が 可 能 で あ っ た こ と か ら、 当 プ ロ グ ラ ム の 運 営 を 円 滑 に 進 め る こ と が で き た か ら。
4831	大 学・ 公 的 研 究 機 関 (独 法・ 公設 等)	30 ～ 39 歳	文 部 科 学 省	24149	国 立 大 学 法 人 等 施 設 の 整 備	こ の ま ま 推 進 す べ き	大 学 等 が 持 続 的 な 成 長・ 発 展 を 遂 げ て い く た め に は、 イ ノ ベ ー シ ョ ン に よ り 新 た な 価 値 を 生 み 出 す こ と が 必 要 不 可 欠 で あ り、 教 育 力・ 研 究 力 を 強 化 す る こ と。 ま た、 大 学 附 属 病 院 に お い て は 質 の 高 い 医 療 を 提 供 す る た め に も、 本 事 業 は 極 め て 重 要 で あ る。	豊 か な 人 材 養 成 や 独 創 的・ 先 端 的 な 学 術 研 究 を 推 進 す る た め に 安 全 性 (耐 震 等)・ 機 能 性 に 問 題 の あ る 既 存 建 物 の 改 善、 高 度 化・ 多 様 化 す る 教 育 研 究 活 動 に 必 要 な 新 た な ス ペ ー ス の 確 保。 ま た、 地 域 医 療 の 最 後 の 砦 と な る 大 学 附 属 病 院 の 再 生 を 行 い、 高 度 先 端 医 療 等 の 提 供 を 行 う こ と は、 国 民 に と つ て 有 益 な こ と で あ る。
4832	民 間 企 業	40 ～ 49 歳	文 部 科 学 省	24174	革 新 的 ハ イ パ フ ォ ー マ ン ス・ コ ン ピ ユ ー テ ィ ン グ・ イ ン フ ラ (H P C I) の 構 築	こ の ま ま 推 進 す べ き	H P C I の 構 築 を 推 進 す る こ と で、 関 係 領 域 の 研 究 に つ い て は 相 当 の 進 歩 が 見 込 め る。 特 に 原 理・ 定 理 の 少 な い 生 物 系 研 究、 特 に シ ス テ ム ズ バ イ オ ロ ジ ー は、 H P C I の 推 進 と 共 に、 集 中 的 に 研 究 を 深 化 さ せ る べ き で あ る。	科 学 技 術 立 国 を 目 指 す 日 本 は、 自 ら 研 究 を 行 い、 技 術 を 開 発 す べ き で あ る。 他 国 の 技 術 を コ ピ ー し て 済 ま せ ら れ る 問 題 で は な い。 シ ス テ ム バ イ オ ロ ジ ー の 分 野 で も 世 界 の ト ッ プ を 目 指 す べ き で あ る。 そ の た め に は、 モ デ ル を 検 証 す る た め の H P C が 必 要 だ と 考 え る。 シ ス テ ム ズ バ イ オ ロ ジ ー を 深 化 さ せ、 E S お よ び i P S 細 胞 の 挙 動 を 解 析 し、 世 界 を リ ー ド で き る よ う に な れ ば 素 晴 ら し い。
4833	大 学・ 公 的 研 究 機 関 (独 法・ 公設 等)	30 ～ 39 歳	文 部 科 学 省	24144	私 立 大 学 等 経 常 費 補 助	推 進 す べ き で は な い	日 本 に お け る 大 学 数 は 欧 米 に 比 べ て も 飽 和 状 態 で あ り、 国 公 立 も 含 め て 大 学 数 の 削 減 を 考 え る べ き。 特 に、 国 が 国 家 予 算 を 私 学 の 運 営 の た め に 使 う 必 要 は な い。	私 学 は、 そ れ ぞ れ の 経 理 で 運 営 す る べ き で あ り、 そ れ が で き な い 私 学 は 破 た ん し て も い た し か た な い。 会 社 で は そ れ は 当 然 の こ と で、 大 学 だ け が そ れ か ら 逃 れ ら れ る 必 然 性 は な い。
4834	そ 他	60 歳 ～	文 部 科 学 省	24133	科 学 研 究 費 補 助 金	こ の ま ま 推 進 す べ き	基 礎 研 究 を 行 う 大 学、 独 立 行 政 法 人、 民 間 企 業 の 研 究 所 等 に 在 籍 す る 研 究 者 が 応 募 で き る も の で、 研 究 者 が 応 募 し や す い 研 究 資 金 で あ る。	新 し い 研 究 の 芽 を 育 て る た め に は、 採 択 率 を 上 げ て、 多 く の 研 究 者 を 支 援 す る 必 要 が あ る。
								自 然 科 学 に お け る 基 礎 研 究 に お い て、 人 材

4835	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業:グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	人材育成は大学院時より行うことで、より効果があると考えています。そのため、是非これまで以上に推進して頂きたいと考えている次第であります。	の育成は10年後20年度の日本を考えた場合、必須であると考えられます。その人材育成も、大学院時より国際化を念頭に行うことで、更に良い人材が育成が可能であると考えられます。そのため、是非、精力的に推進して頂きたいと考えている次第であります。
4836	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	我が国の研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、確実な予算確保が必要である。	大学等の研究費が減少するなかで、公的な研究資金による研究支援は必要である。
4837	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24118	分子イメージング手法を用いた疾患診断研究及び治療法開発・評価研究	このまま推進すべき	研究体制が整備され、研究の緒についたところであり、さらに、推進すべきである。	がん、アルツハイマー病、パーキンソン病の診断など、分子イメージング技術の必要性が、高まっているため。
4838	その他	60歳～	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、大幅な拡充は必要である	新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度である。
4839	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24131	ライフサイエンス基盤研究領域事業(内、生命分子システム基盤研究)	このまま推進すべき	タンパク質を含めた生体分子を、実体のある「もの」として取り扱うための先端的技術を開発し、集約するための研究センターの意義は大きいと思います。このセンターの機能を維持し、さらに強化することを望みます。多様なタンパク質を生産するための高度で一貫した体制や技術力を強化し、大学の研究室や民間会社との連携を支援する枠組みを作ってほしい。センター内に相談窓口を設置することも意味があると思います。	タンパク質性製剤が今後の医薬品の中で大きな比重を占めていくことが予想されている。従来の低分子化合物の開発とは全く異なる開発力が必要であり、そもそもタンパク質を生産する技術と体制が無いところでは、開発を進めることも難しい。個々の企業、大学研究室でばらばらにタンパク質生産技術を追求するのは効率が悪く、素人的な遠回りをしているケースも見られる。将来的な医薬品開発の姿を見据えて、他国に後れをとって手遅

							れにならないようにするべきだろう。	
4840	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	本施策は、関連基礎研究分野にとどまるのみではなく、医薬開発、食糧問題解決などの広い意味でのライフサイエンス分野全体のインフラ基盤となる。この意味で、この施策を積極的に推進すべきと思う。	具体的には、本施策の遂行により、分子構造を基盤としたタンパクの機能が理解できるようになる。いまや、構造生物学はライフサイエンスのあらゆる分野の不可欠な基盤になりつつあるが、そのインパクトは基礎科学分野にとどまらず、構造解析と機能解析の密接な連携により、医薬の開発や食糧・環境問題の解決につながる基礎的な成果が生まれつつある。さらに、このような研究プログラムの継続により、日本の科学研究の未来を担う若手の人材が育ってきた点も重要である。そして、今後もこれらの若手研究者が自立できるような支援は必要であると思う。
4841	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	これからもぜひ推進すべきだと思います。	よきキャンパスは、よき教育・学問の推進のための基盤であるから。
4842	その他	20～29歳	総務省	20102	超高速光エッジノード技術の研究開発	このまま推進すべき	私は今20代のフリーターです。私自身、長期的に続く仕事が見つからず、本当に雇用が減っているのだと痛感しています。日本の光通信産業は世界に誇れる分野であり、もっと研究開発に力を注ぐべきです。このことは将来的にも日本の人材育成や雇用対策につながっていくと考えます。	現時点で日本の光ファイバーサービスは、世界のトップクラスです。この地位を維持すること。それは日本の国際競争力において大変重要なことです。光通信産業は世界中の産業の基盤となっています。そんな素晴らしい技術を持っているのにせつかくの地位を台無しにしてしまうのは、これまで積み上げてきたものを崩してしまうことになります。
							この施策の実現には素粒子物理学、加速器	

4843	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま進めべき	この施策の目的、達成手法、実施体制は詳細まで具体的に提案されており、またその基盤もノーベル賞に繋がったKEKBの成果から揺るぎないものである。期待される素粒子・宇宙分野における成果は、スイスにおけるLHC計画と相補的な部分と独自の部分があり、そのことから遅れることのないような速やかな計画推進が重要である。このことによって国際協力体制が強固になり、物理学研究の国際的拠点として機能することが可能となると考える。	物理学、加速器工学の分野で最先端の研究開発が必要であり、現在は日本だけが為し得る計画である。このような物理学の根源の分野での優位性を維持すれば、物理学のみならず、工学、医学などを含めた他分野への影響も計り知れない。また、国際的に競争・協調しながら最先端科学計画を実現する方向性は、これからの日本の産業を含めた生き方を示しており、活力のある施策を若者に提示することは重要である。
4844	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま進めべき	大学院博士課程修了後に研究者を目指す者にとって、キャリアパスの一つであり、同制度の充実が必要である。	将来、我が国を支える研究者集団を継続的に養成するために必要な施策である。
4845	その他	20～29歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま進めべき	私は今20代のフリーターです。私自身、長期的に続く仕事が見つからず、本当に雇用が減っているのだと痛感しています。日本の光通信産業は世界に誇れる分野であり、もっと研究開発に力を注ぐべきです。このことは将来的にも日本の人材育成や雇用対策につながっていくと考えます。	現時点で日本の光ファイバーサービスは、世界のトップクラスです。この地位を維持すること。それは日本の国際競争力において大変重要なことです。光通信産業は世界中の産業の基盤となっています。そんな素晴らしい技術を持っているのにせつかくの地位を台無しにしてしまうのは、これまで積み上げてきたものを崩してしまうこととなります。
	大学・						地球温暖化の進行に伴い、既存の白熱球や蛍光灯に比べ電力効率の高い次世代照明の実用化は、エネルギー自給率が低い我が国にとつ	有機EL照明は、本邦の大学・企業の研究者の努力によって実現したきわめてオリジナリティの高い技術といっても過言ではない。また有機EL照明は、太陽光に近い白色光で構成されるため、今後気候変動を受けにくい野

4846	公的研究機関 (独法・公設等)	40～49歳	経済産業省	27018	次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基盤技術開発	このまま推進すべき	て極めて重要なプロジェクトである。また蛍光灯のような有害な水銀などは使われておらず、環境負荷の面でもアドバンテージは大きい。何よりも政府はCO2排出量を25%削減することを公約しており、目標を実現するためにも本国家プロジェクトを推進すべきである。	業工場などでの活用も期待される。有機ELの製品開発の分野は、他国に比べアドバンしていると思われるが、国家プロジェクトで今後も推進されなければ、アイデアだけ取られ利益をもっていられる可能性がある。80年代の護送船団方式を超えた産官学の連合艦隊として世界市場に売り込んでいくことを強く望む。
4847	民間企業	40～49歳	文部科学省	24180	ナノテクノロジー・ネットワーク	このまま推進すべき	ナノテクノロジー・ナノ材料技術は、我が国が世界に対して優位に展開できる可能性を秘めた数少ない産業資源である。同技術により、従来製品化が困難であった物の見直し、さらには高付加価値も見込まれ、既存国内産業との融合により新産業創出起爆剤になるものと確信している。同技術に対する国としての投資は今まで以上に行われるべきである。	弊社は、同ネットワークの一つ早稲田大学ナノテクノロジー研究所とフレキシブル感圧センサ開発に関して共同研究を行っている。このセンサ開発においては、ナノテクノロジーソリューションによるところが大きく、非常に困難な障壁を乗り越えて製造プロセスが構築できた。同センサは、現在製品化目前となっている。同センサの発展型開発のために、今後も同研究所とはお付き合い願いたい。
4848	民間企業	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	日本の科学技術を維持する為に必要不可欠の施設である。研究成果が期待される分野と考えます。	ミュオンは開発途上で、これから発展する分野であり、世界にさきがけた独自の新たな科学を開拓することが可能です。
4849	民間企業	30～39歳	経済産業省	27007	次世代印刷エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発事業	このまま推進すべき	日本の産業を発展させる上で、原点のひとつである「ものづくり」への回帰は重要であると考えられる。そのような中で、印刷エレクトロニクスは、環境負荷の大きな現在の半導体産業にパラダイムシフトを起こし、製造装置への資本の投入競争から脱却し、国際競争力を高めることができると考えられる。その	日本においては、本施策の成功の鍵を握る印刷・化学・物理工学などの分野における技術・人材が豊富である。印刷エレクトロニクスは作製時におけるノウハウの蓄積が重要であり、完成品から作製材料やプロセスの解析が困難である。しかしながら、様々な分野の技術が集積されるため、広い知識を有する人材の育成や個々の技術・人材を結びつける旗振り

							ために国が率先して、重要な分野を牽引する姿勢を見せることが重要である。従って、本施策が今後も実行されることを願っている。	役が必要である。従って、国の施策として印刷エレクトロニクスを推進することが重要である。また、日本発の技術の流出を防ぐためにも、なるべく早く施策に着手し、世界にリードすることが必要である。
4850	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者の育成は、技術立国としての日本にとって必要不可欠である。	最近では、失敗することに対して風当たりが強く、ゆえに失敗を恐れる風潮が強くなっている。経済的な余裕がなければなおさらである。しかし、チャレンジした上での失敗ならば、そこから学ぶことも多い。若手研究者に、経済的な不安を感じることなく、「失敗から学ぶ」という機会を与えて欲しいと願う。
4851	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	環境省	29101	衛星による地球環境観測	このまま推進すべき	これからもぜひ推進すべきだと思います。	GOSATは、温室効果ガス観測衛星として世界の先陣を切っており、地球温暖化問題の科学的理解への多大な貢献が期待できるから。
4852	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	日本国内の加速器プロジェクトである、大強度陽子加速器施設(J-PARC)を推進するべきである。	J-PARCは、陽子加速器から発生する多彩な二次粒子(中性子・ミュオン・ニュートリノ等)を用いた新しい研究手段を提供する世界最高レベルの実験施設であり、基礎科学から産業応用までの幅広い研究開発の推進が期待される。また、KEKB加速器と同様、国内における世界レベルの加速器実験推進は、日本の科学技術推進のために重要である。
4853	大学・公的研究機関(独)	50～59歳	経済産業省	27116	セルロース系エタノール革新的生	このまま推進	汎用的に入手可能な、非可食性植物由来原料からバイオ燃料を省エネルギー・高効率に製造するプロセスの開発は、世界的に研究開発が集中的に行われており、我	木質多糖の酵素糖化経路のバイオ燃料生産に加え、BTL化など全く別経路のバイオ燃

	法・公設等)	歳	省		産システム開発事業	すべき	が国においても独自のシステムを確立することが今後ますます重要となる。よって一層拡充することが望ましい。	料生産も含め、一層の研究開発の推進が必要である。
4854	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は、研究者の自由な発想に基づき研究を格段に発展させることを目的とした競争的研究資金であり、優れた独創性・先駆的研究に対する助成を行って、我が国の科学技術の発展に不可欠であり、多くの可能性を秘めた若手研究者に幅広く助成する制度であり、このまま推進すべきと考える。	国立大学法人移行後、各大学は大学運営資金として外部研究資金の確保に特に力を注いでいるところで、本学においても中期計画に掲げており、外部研究資金獲得の観点から研究戦略会議の下に外部資金獲得方策検討WGを設置し対策を講じているところである。さらに、毎年度、国立大学法人運営費交付金が1%減されることなどを踏まえた上で、本学が引き続き地域の知の拠点として将来においても活発な研究活動を保持できるように、さらなる施策の展開を図ることとしている。
4855	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブに関して、実際に本予算により研究を推進している者の立場から意見申し上げたいと思います。 次世代シーケンサーなどによる大規模な解析は非常に有効な手法であり、これまで以上に本方法などを中心とした研究を積極的に推進していくべきであると考えております。また研究は継続が重要であり、研究の中断によりこれまでの実験データが全くの無駄になってしまう可能性もあります。 どうかよろしくご勘案願います。	現在私は本研究費で一昨年の4月より研究員をしています。私の研究は立ち上げに非常に困難を極めました。地道な努力により軌道に乗り、現在精力的にデータ収集に勤しんでいるところです。これまでに私は実際に次世代シーケンサーにより実験データを取得しており、この手法の有効性を実感しております。さらにその得られたデータを元にさらに研究を推進することで、産業や医療分野に応用可能な成果が得られる強い見込みがあります。したがってこれまでのように、あるいはそれ以上に推進していくべきであると考えています。
								国立大学法人移行後、各大学は大学運営資金として外部研究資金の確保に特に力を注いでいるところで、本学に

4856	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は、研究者の自由な発想に基づき研究を格段に発展させることを目的とした競争的研究資金であり、優れた独創性・先駆的研究に対する助成を行って、我が国の科学技術の発展に不可欠であり、多くの可能性を秘めた若手研究者に幅広く助成する制度であり、このまま推進すべきと考える。	においても中期計画に掲げており、外部研究資金獲得の観点から研究戦略会議の下に外部資金獲得方策検討WGを設置し対策を講じているところである。さらに、毎年度、国立大学法人運営費交付金が1%減されることなどを踏まえた上で、本学が引き続き地域の知の拠点として将来においても活発な研究活動を保持できるように、さらなる施策の展開を図ることとしている。
4857	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ(ターゲットタンパク研究プログラム)	このまま推進すべき	ターゲットタンパク研究プログラムについて、是非このままプロジェクトを推進していけるよう、予算要求に沿った予算編成を進めていただきたいと思います。	私は現在上記のプロジェクトに研究員として参加させていただいております。本プロジェクトは現在佳境に入っており、これまでも多数の価値のあるデータが報告されてきました。本プロジェクトには多数の研究員が参加しており、予算の多くはその人件費に使われております。ここで大幅な予算の削減があると、多くの実際に実験を行う研究者の数が減り、これまでのまさにまとめに入らんとする課題の幾つかが中途半端な形で終了してしまう恐れがあると考えます。これまでに費やしてきた予算を無題にしない意味でも、優先度を高めた予算編成をしていただけたらと思います。
4858	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	環境省	29103	環境研究総合推進費((「環境研究総合推進費」と「循環型社会形成推進科学研究費補助金」の統合)	このまま推進すべき	これからもぜひ推進すべきだと思います。なお、PDF版の説明は、従来の2つのプログラムが入り組んでいて、わかりづらい。	本プログラムは、特に従来の「地球環境研究総合推進費」の部分は、地球環境研究の推進に多大な実績を有しているから。
								数学の他分野への連携可能性を吟味すること

4859	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24019	数学・数理学と他分野の連携拠点形成支援プログラム	このまま推進すべき	強力に推進すべきである。	とにより、その数学の新しい見方・理解度が深まり、数学の研究にも有益である。 また、他分野についても有益なことがある。もちろん、数学を応用していることをアピールする産業は従来からあったが、宣伝で終わる場合があった。今回、数学の立場から吟味することで持続可能な貢献を狙う、そのような場を設けるべきである。 数学は、他の分野に比べて費用対効果が高いので、懇願する。
4860	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	当該プログラムを担当する科学者は、中堅からベテランまでこの分野の精鋭にあたる方々だろうと思います。そうした方々の優れた研究活動を通じて、現在の日本になにより必要な、若い科学者、学生が(決して予算面に限らない)恩恵を受けているという事実を目の当たりにします。そうした「次世代への投資」という側面からも、プログラムの維持推進を図って頂きたいと思えます。	日本をはじめとする先進諸国の国際的地位の低下が懸念される現在、明治時代にいち早く西欧近代科学を取り入れた歴史的経緯から、幸いにも現在国際的に認められる水準にあるバイオサイエンスの分野において、その優位性を死守していくことは、国民の自信と国家の威信を維持するために、優れて費用対効果の高い方法ではないかと思えます。現在の、内向きで自信を喪失した社会的風潮を乗り越えた次の世代に、そうした近代日本の輝かしい伝統を接続するためにも、こうした優れたサイエンスへの投資を我慢して続けることが、いま必要なのだと考えます。
4861	大学・公的研究機関(独)	50～59	文部科学省	24136	世界トップレベル研究拠点プログラ	このまま推進すべき	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)は、日本が世界のトップレベルの研究を進めていく上で必須のプログ	世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)は数々の成果をすでにあげてきています。ここ

	法・公設等)	歳			ム(WPI)		ラムです。強力に推進すべきプログラムだと思います。	でストップするのは大きな損失になります。
4862	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24002	海洋生物資源確保技術高度化	このまま推進すべき	海洋国家としてこのような施策を進めていくことは国策にかなうことであり、是非とも推進していただきたい。	我が国が四方を海に囲まれ、高機能食品である水産物によって多くの恵みを得てきたことを再度認識し、積極的に研究を進める必要があるから。
4863	その他	20～29歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンスコンピューティングインフラの構築	このまま推進すべき	スーパーコンピューターは、情報分野の競争力を維持、推進するために必要な資源である。	現在のように大量のデータを扱わなければならない状況下においては、複雑な情報から迅速に必要なデータを抽出、計算する必要があり、高速なコンピューティングシステムは絶対必要である。
4864	その他	60歳～	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	花粉症のワクチン開発をなされているとのことでは是非開発を急いでください。	家族親戚含め多くの知り合いが春に苦しんでいます。こんなに多くの人が毎年悩んでいるのにどうして国は何もしないのでしょうか。もっと国が力を入れて取り組めば早く何とかできるのではないのでしょうか。是非取り組んでください。
4865	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	日本の基礎科学を支える根幹になっているもので、これは維持・発展させていくべきである。科学研究費は、研究者の真摯な審査によって支えられており、申請書で、研究者の実績と能力がチェックされている。決してバラマキで予算が配分されているものではない。私は日米両方の審査にかかわったことがある。同レベルの研究提案に関連する、予算額はアメリカの方が3-5倍高い。	私は日米両方の審査にかかわったことがある。同レベルの研究提案に関連する、予算額はアメリカの方が3-5倍高い。まだまだ足りないと思う。
4866	民間企業	30～39歳	経済産業省	27005	グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤	このまま推進すべき	脱石油資源による持続可能な産業発展をはかるとき、資源量の豊富な安定供給可能な植物由来材料利用の研究	セルロースナノファイバーを利用した高強度樹脂材料の開発は、今後の軽量グリーン材料のキーテクノロジーとなりうると思うため、実用

		歳		技術開発		は早急かつ強力に推進されることを望みます。	化に向けた技術確立を世界に先駆けて構築することが必要であると考えます。
4867	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133 科学研究費補助金	このまま推進すべき	是非、精力的に推進して頂くことを希望します。全ての研究者に対する研究費は勿論のこと、特に若手の研究者の研究費も大きく拡充して頂けると嬉しいです。基礎自然科学研究は人類の技術の基礎であり、是非、大いに推進することを強くお願いする次第であります。	特に新たな挑戦的な萌芽研究を行う際、必ずしも結果が付いてこない場合があります。しかしながら、特に若手研究者の場合、研究費が乏しいのみならず、次の研究費を取得するにも競争が激しく結果の出やすい研究を行うこととなります。そのため、挑戦的な萌芽研究がなかなかしにくい状況であります。どうぞ、研究費の拡充に関して、ご検討の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。
4868	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24006 ライフサイエンスデータベース統合推進事業(仮称)	このまま推進すべき	ライフサイエンス分野は近年出てくるデータ量が多く、それらが欧米ではきちんとインフラとして機能している一方で本邦ではそれらにぶら下がって利用しているだけで、とくに母国語である日本語でのリソースが極端に少ない。それらのリソースを主に維持管理するこのプロジェクトは優先的に推進すべきであると思います。	研究者でも専門を外れると専門家でなく母国語である日本語でのリソースが非常に有用なのにそれが現時点ではあまり整備されていないため、専門の壁がなかなか超えられていない現実があります。また、日本語のリソースが蓄積していくと将来的にはそれらを自由に閲覧利用して専門家でない国民の科学レベルの底上げになるのではないかと考えます。
4869	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	経済産業省	27117 戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業	このまま推進すべき	従来の研究開発は木質多糖の酵素糖化経路に力点が置かれていた。しかし、木質成分の超分子構造の複雑を考慮すると、木質バイオマスのガス化、液体化(BTL)は合理的であり、一層の研究の加速が必要である。	従来の研究開発は木質多糖の酵素糖化経路に力点が置かれていたことから、木質バイオマスのガス化、液体化(BTL)に関する、一層の研究の加速が必要である。
4870	大学・公的研究機関(独法・公設)	40～49歳	文部科学省	24133 科学研究費補助金	このまま推進すべき	若手研究(A)・(B)は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、必要不可欠な研究費である。本研究費の大幅な拡充は日本の未来を切り拓く重要な布石	公的な研究資金による研究支援は必要不可欠であり、大学等の研究費が減少するなかで、若手への支援は格別の配慮を必要とす

	試等)						となることを確信する。	る。
4871	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	20～29歳	文部科学省	24013	理数学生育成プログラム	このまま推進すべき	理数学生応援プロジェクトよりも規模を拡大し、続けて欲しいです。	私は昨年、大阪大学理学部において理数オナープログラムに参加いたしました。これは理数学生応援プロジェクトとして文科省からの支援を頂いたもので、通常の授業ではできない体験が得られ、科学についての理解と興味が深まりました。このプロジェクトは全国22大学において採択され、これまでは各大学ごとに活動をしてきたわけですが、阪大では来月、これらの大学から優秀な自主研究を集め、発表会が開かれることになっております。今後このようなインターカレッジの活動が盛んになり、参加学生が増えることを望みます。
4872	大学・公的研究機関(独法・公設試等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	我が国の学術研究の極めて重要な支援となる競争的資金であり、知的財産を国力の基とする我が国にとってもっとも重視されるべき制度である	革新的技術の創造は基礎研究の蓄積の上にも実現できるものである。しかし基礎研究へは企業等の競争的資金は行き届かず、財政支援が不可欠である。英教育専門誌タイムズハイヤーエデュケーションによる今年の世界大学ランキングにおいて我が国の大学は軒並み大きく順位を下げたが、その大きな理由が「高等教育における最近の財政削減」であった。国際社会における大学の地位低下は将来の国力の低下であり、基礎研究への国の支援の重要性は高まっている。
4873	大学・公的研究機関	30～	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の	改善・見直しをした上で	教育・研究機関としての国立大学法人の質を維持するという点において、必要な項目	財源の確保には、学生数を増やす必要がある。だが、学生を増やすことを最優先するあまり、学生に要求するレベルを下げるという事態がすでに起こりつつある。国立大学法人

	(独法・公設等)	39歳	省		整備	推進すべき	については継続して推進すべきである。	は、学生のレベルに合わせるのではなく、学生とはこうあるべきだと教えることが重要であろう。そのために必要な財源は支出して頂ければ幸いである。
4874	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	このまま推進すべき	これまでも多くの研究者を輩出する基盤となった資金であり、若い研究者が研究に専念できる環境を整えるためには是非とも必要な経費であり、科学立国を標榜する我が国は積極的に推進すべきである。	我が国のいわゆる「奨学金」は「学生ローン」に過ぎない。真の意味での「scholarship」は本事業を置いてほかにない。
4875	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24008	テニュアトラック普及・定着事業	推進すべきではない	大学におけるテニュアトラックの導入にそもそも反対です。よって、普及定着を図ることを支援することにも反対です。このような事業は全廃するべきです。	テニュアトラックの導入が有意義な成果をもたらすには、競争原理が十全に働いていることが前提です。具体的には、一部の教授職まで含めて、準教授以下は全て任期制雇用であるような状況で初めて、若い研究者に競争原理を導入することがフェアな施策になります。現状はこの正反対であり、テニュアトラックは若い研究者に過重なプレッシャーをかけることになります。生物系の研究では研究施設が必要になり、共通機器や施設の整備がほとんど行われていない現在の大学の現状では、若手研究者は自由に研究ができず、寄寓する研究室の主宰者の意向に沿うように求められる懸念が大いにあります。
4876	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24005	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	臨床へとつなげるパイプラインを形成するために単にGMP.GLPの施設をつくるだけでなく、そこにおいて生産するための技術開発を行うべきである。従ってもっと予算を増やして推進すべき。	特に、新しいバイオ関連先端医薬は製造方法が非常に難しくなっており、単に拠点整備だけでなく、人材育成とともにその人材を生かした常に最新の製造技術開発が必要。
								世界レベルの人材の

4877	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	これまで我が国における高等教育、研究の中心であり、そして今後もそうあり続けるであろう国立大学法人の施設整備は以前にも増して推進すべき課題である	輩出と高度な研究活動の遂行は国立大学法人の責務であり、日本の発展になくなくてはならない知の基盤をなすものである。国際社会における我が国の相対的地位の低下が不可避となる中で、そうした責務を担う国立大学法人の教育研究環境の整備は積極的かつ緊急に行われる必要がある。
4878	民間企業	60歳～	総務省	20004	脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発	このまま推進すべき	本研究開発の成果は障害者などの社会参加の拡大を可能とするものであるとともに、究極的な遠隔診療、遠隔医療につながるものであり、安心・健康社会実現のために極めて重要かつタイムリーな研究開発課題である	BMIを始めとする脳情報技術に関する研究開発は、国際間において熾烈な競争が繰り広げられており、我が国がいち早くネットワークを介したBMIの研究開発に着手し、鍵になるコア技術の特許、技術ノウハウなどを抑え、この分野でイノベーションを創成することの意義は極めて大きい
4879	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	スギ花粉症などの、アレルギー疾患を予防するワクチンの開発と、その為の免疫調整機序の基礎的研究を積極的に推進する必要がある。	スギ花粉症などの、アレルギー疾患は今や国民病とも考えられる。毎年国民が被る肉体的、精神的苦痛は甚大である。また国民の健全なる日常生活を脅かすだけでなく、経済活動にも計り知れない損害をもたらす。アレルギーを引き起こす免疫調整機序を解明して、その治療方法の開発は積極的に進める必要がある。
4880	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、大幅な拡充は必要である。また、若手研究者の自立支援を行う意味でも「若手研究(A)・(B)」は必要である。	新しい研究の芽を育てるためには、採択率を上げて、多くの研究者を支援する必要がある。
								新学習指導要領で、理科の時間が大幅に増えている。

4881	小・中・高校	20～29歳	文部科学省	24148	理科教育等設備整備等補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	学校における理科の予算をしっかりとすべきである。学校によっては、予算がほとんど無かったり、他の物にお金が消えて理科まで届いていないという話も聞く。そんな中で、新学習指導要領にしてもどうしようもないと思う。しっかりと、理科に予算を使えるようにしてほしい。	また、資源の無い日本ではこれから先、科学技術を伸ばさないとどう考えても、落ちこぼれになってしまう。理科の教育を充実させ、しっかりと伸ばしていく必要があると思う。本で読むだけでなく、実際にモノを使って、実感を伴った理科にしていく必要があり、そのためには、実験器具や、消耗品を充実させていく必要がある。
4882	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ(ターゲットタンパク研究プログラム)	このまま推進すべき	ターゲットタンパク研究プログラムについて、是非このままプロジェクトを推進していけるよう、予算要求に沿った予算編成を進めていただきたいと思います。	私は現在上記のプロジェクトに研究員として参加させていただいております。本プロジェクトは現在佳境に入っており、これまでも多数の価値のあるデータが報告されてきました。本プロジェクトには多数の研究員が参加しており、予算の多くはその人件費に使われております。ここで大幅な予算の削減があると、多くの実際に実験を行う研究者の数が減り、これまでのまさにまとめに入らんとする課題の幾つかが中途半端な形で終了してしまう恐れがあると考えます。これまでに費やしてきた予算を無題にしない意味でも、優先度を高めた予算編成をしていただけたらと思います。
4883	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助は基礎科学を支える数少ないプロジェクトのひとつです。強かに推進すべきプロジェクトだと思います。	科学研究費補助金がなくなると基礎科学にとって大きな損失になります。あらたな研究の芽も数多く生まれています。決して無くしてはいけなないプロジェクトです。
								近年では医薬品の開発は分子標的剤を主流としており、的確な医薬品の設計にはその

4884	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	改善・見直しをした上で推進すべき	ターゲットタンパク研究プロジェクトでは集中的に資金を投入することにより、人材の育成と確保が行われたことにより、新規構造解析の技術とそれを利用した重要な生体分子の構造解析がなされた。構造解析の分野は比較的狭いコミュニティであるため継続的に人材育成を続け、この分野の発展を行うべきであると考えられる。	標的である蛋白質などの生体分子の構造情報が欠かせない。この構造情報は、情報があれば直ちに医薬品が開発できるというたぐいのものではないなく、また、構造の解析には多大な労力がかかるため情報はオープンにし、共有するほうが望ましい。そのため、ターゲットタンパク研究プロジェクトは理想的なプロジェクトであると思われる。
4885	民間企業	50～59歳	経済産業省	27169	グリーンITプロジェクト	このまま推進すべき	グリーンITプロジェクトによる、極低電力回路・システムの開発活動に期待する。	現在システムLSIに最も要求されている条件は、低消費電力化。この課題が解決されないと、開発着手できないケースが増えてきている。
4886	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	○ 我が国の研究者の研究活動を支える重要な競争的資金であり、予算規模を拡充すべきである。 ○ 研究者の研究活動を支援する重要な制度であり、着実な予算確保が必要。 ○ 基礎研究を行う大学、独立行政法人、民間企業の実験施設等に在籍する研究者が応募できるもので、研究者が応募しやすい研究資金である。 ○ 「若手研究(A)・(B)」は、若い研究者にとって研究費獲得の登龍門となっており、大幅な拡充は必要である。	○ 新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度である。 ○ 新しい研究の芽を育てるためには、採択率を上げて、多くの研究者を支援する必要がある。 ○ 大学等の研究費が減少するなかで、公的な研究資金による研究支援は必要である。
4887	民間企業	60歳～	文部科学省	24148	理科教育等設備整備等補助金	その他	大正末期創業の当社は現在まで一貫して学校教育用の理科器械を作り続けてきました。近年、教育現場での理科離れと実験の軽視に理振予算の減少が重なり、市場は縮小の一途をたどりました。昨年政府は景気浮上のため例年予算の十倍を超える無謀な予算を執行しました。業界はこれを千載一遇の機会と捉え売り込みに狂奔しましたが、このような状況は私共	理化教育のための実験機器の購入は現場の先生方が指導要領に基いて慎重に検討し計画すべきものです。政府の景気対策による桁外れの予算を消化する事を第一に、何でも構わず購入するという行為は税金の無駄遣いです。科学実験の能力が低下している現在、買い込んだ機器が放置されている事も予想されます。また、年度内の納入に限定さ

						生産者にとっても教育現場にとっても決して好ましいものではありません。	れた生産現場は生産秩序を破壊され、ばったり止まった注文と思惑外れの在庫品の前で立ちすくんでいます。	
4888	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	日本が今後、科学技術創造立国を目指すために博士課程の学生に対する支援を行うことは、必要なことであると考えています。そして、そのためには科学技術だけではなく様々な分野(文化なども含め)との融合を考え、人のための人を中心とした科学の創設が必要となると考えています。さらに、この様な目的に対して実施されてきたCOEに採択されている総合大学でより高度な教育を行っていく必要性もある。	今後の日本を担っていくリーダーを育成するためには、多くの費用がかかります。それは、これからの科学の創造のためには、専門分野に対する深い知識だけではなく、様々な角度から物事を考える必要があります。さらに、国際的な人間育成のためには海外での生活も必要になります。このような育成をしたリーダーが、将来の日本を創造することができるからこそ、この施策を実施する必要があると考えます。
4889	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24161	ITER計画(建設段階)等の推進	このまま推進すべき	積極的な本施策の推進が必要である。ただし、ITER計画の進捗状況を、より広範囲の人々に知ってもらう努力が必要である。	核融合エネルギーは、将来の恒久的な人類のエネルギー源として有力な候補であり、これを実現するための重要なステップとしてITER装置による燃焼実証ならびに技術統合試験である。また、ITER計画は7極による国際協力のもとで推進されているが、国際協力事業における我が国のリーダーシップを確保するためにも、積極的な施策推進が必要である。
4890	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	高等教育において、教育・研究は不可分であり、その施設整備は直接的に次世代の育成に関わる重要な施策であり、積極的な推進が必要である。	教育立国を目指す上で、教育研究機関の設備整備が必要なことは自明である。
4891	民間企業	40～49歳	文部科学省	24126	ゲノム医科学研究事業	このまま推進すべき	本研究を推進することにより、個々の特性に合わせた最善の治療を受けることが可能になると考えます。	本研究の成果により、個人の特性に応じた最善の治療を受けることができることと、無駄な治療を削減することにより医療費の削減を

							実施できると考えます。
4892	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	厚生労働省	25109	地域医療基盤開発推進研究	このまま推進すべき	地域の医療に関わる本事業は、従来以上に推進すべきである。
4893	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24152	スーパーサイエンスハイスクール支援事業	このまま推進すべき	科学技術に関係した人材を育成するためのスーパーサイエンスハイスクール支援事業を、高い優先度で推進すべきだと思う。
4894	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24157	首都直下地震防災・減災特別プロジェクト	このまま推進すべき	人口が稠密な首都圏で過去に発生した地震について調査し、将来発生する地震に備えることは、国家存続のため重要。
4895	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24010	女性研究者研究活動支援事業	このまま推進すべき	男女共同参画の視点から、支援事業を採択し推進すべきである。
4896	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	生物学の研究者にとって、生物材料の研究者間でのやりとりは欠くことができないが、他の研究者のリクエストに応じてその都度送るのは手間であるし、何よりも、その研究者が引退する際、貴重な研究資材が失われたり散逸する。本プロジェクトは、それを防ぐことができる。このような貴重

							な生物資源は国が管理するのが適当である。
4897	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	この施策によって、経済的理由から民間に就職する予定だった大学院生が多数博士課程に進学し、先端的研究を大きく進展させている。さらに、最先端の研究現場で学んだ彼ら自身も研究者を目指しているため、彼らが今後10～20年のうちには日本の科学研究レベルを大きく高めることは疑いが無い。また、これまでなかった大学間、グループ(GCOEプログラム)間の健全な競争もおこるようになった。これまで続けてきたこのような良策を縮減することは、愚かしいことと思う。
4898	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	このまま推進すべき	日本が諸外国に対し有利に立てる点のひとつに、科学技術水準の高さがある。しかし、その科学技術を支える根幹にいる、博士号取得直後の新米研究者たちは、日々の暮らしが困窮し、先の見えない就職難におびえている。このままでは各人が目立つような研究が優先されるようになり、将来に渡って、人類全体にとって価値のある研究がおろそかになってしまう可能性がある。こうした世界的な研究を支援するためにも、彼らを資金面で支援する必要があると考える。
	大学・公的研究機関	40～	総務		脳の仕組みを活かした	このま	(1)脳の仕組みを活かしたBMIに基づく『要介護者支援装置』の開発が期待されている。我が国の介護事情を考えると従来の介護だけではなく、新しい介護の形を考える上で必要な

4899	(独法・公設等)	49歳	省	20004	イノベーション創成型研究開発	ま推進すべき	要があり、研究を今以上に進めるべきと考える。また、その技術開発は、世界に注目され、活用されると考える。	研究である。 (2)脳機能の解明は、まだ、多くの謎が残されている。さまざまな面から研究を重ね精神疾患などの早期発見・治療に発展させることが期待されている。
4900	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	是非、推進していくことを希望いたします。ゲノム解析が終わり、現在タンパク質機能を詳細に明らかにすることが必要とされています。しかしながら、タンパク質の機能が予想以上に複雑であることが同時に明らかになってきていると考えております。そのため、是非、精力的に国をあげて本研究を推進し、生命機能をさらに詳細に明らかにして頂きたいと考えております。これによって、基礎生命科学研究のみならず、創薬など国民の生活の改善にも繋がると考えております。	タンパク質の機能を明らかにするためには、分子生物学だけでなく、物理学、有機化学など様々な技術を複合する必要があると考えております。それと同時に研究としても複雑となるため、是非、国をあげて精力的に推進して頂きたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
4901	民間企業	50～59歳	総務省	20004	脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発	改善・見直しをした上で推進すべき	研究達成目標を精査する必要を感じるが、研究開発は積極的に推進すべき。	高齢者や障害者の社会参加拡大やQOL向上に貢献する研究であるから。 なお、具体的な「研究開発目標」への記載内容には、不明確な部分があり精査が必要。以下はその例。 (1)「26年度末までに実現」の?になぜ「2～3秒の遅れがある技術」「1秒以下の遅れがある技術」「2～3百ミリ秒以下遅れの技術」が混在するのかが不明確。3番目の技術があれば、他は達成できるはず。 (2) 高速で実用的なBMIを達成する本研究になぜ時間分解能が悪い「高磁場MRI」が必要であるのかが不明確。しかも、MRIは背負って歩けず、多数の人用のインターフェースとしては使えない。 (3)「23年度の目標」の?「高磁場MRIのゆがみ等の評価指標」はメ

								一カーにあるはず。目標とすべき項目か疑問。
4902	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	若手だけでなく中堅研究者の基盤も手厚くすべき。	若手サポートで大きくなり、自由闊達な研究を行ってきた研究者が中堅になるとたんにサポートがなくなり、せっかく続けてきた研究を中断せざるを得ない。長い目でみて、中堅であきらめることのないようにしていただきたい。
4903	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	基礎研究を行う大学、独立行政法人、民間企業の研究機関等に在籍する研究者が応募できるもので、研究者が応募しやすい研究資金である。したがって、着実な予算確保が必要不可欠である。	大学等の研究費が減少する中で、新しい研究テーマにチャレンジするため、応募しやすい研究資金制度であるため。
4904	民間企業	30～39歳	経済産業省	27018	次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基盤技術開発	このまま推進すべき	環境にやさしく、また人にもやさしい次世代照明は持続可能な発展に必要な技術だと思います。	有機EL照明は水銀を使わず、蛍光灯よりも電力効率もよいと聞いています。また、均一に発光し、人の目にも負担がないとのこと、是非とも実用化してもらいたい技術の一つだと思うからです。
4905	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24130	ライフサイエンス基盤研究領域事業(内、オミックス基盤研究)	このまま推進すべき	国税を投資した次世代シーケンス拠点として、日本全国からさらに有効に活用されるべきである。	次世代シーケンスは高額であり、また、有効に利用するには技術者のスキルと研究者の知識が必要であることを考えると、拠点化することでスケールメリットを図り、日本の科学技術力の向上につなげるべきである。
4906	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24129	バイオリソース事業	このまま推進すべき	理化学研究所バイオリソースセンターにおけるバイオリソース事業は、マウスやiPS細胞を系統たてて収集・保存するとともに、内外の研究者の要望に応じて提供している。また、国際的な機関として活躍をしており、事業は推進する必要がある。	生物遺伝資源は、研究のみならず人類にとっても重要な財産であり、我が国の研究開発の基盤を支えていくためにも必要不可欠である。これまで蓄積・発展させてきた基盤を確実に支援すべきである。
	大学・							

4907	公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	日本の学術研究の基礎を担っているものといって良く、より強く推進すべきである。	日本の人文・社会科学から自然科学まで全ての分野の学術研究を実質的に下支えしているものであるため。
4908	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24009	特別奨励研究員事業	改善・見直しをした上で推進すべき	DCとPDの採用比率を見直すべき。博士課程を卒業した若手を受け入れる仕組みがなければ、「高学歴ワーキングプア」が増えるのも当然だと思う。	優れた若手研究者を育てなければ、いずれ日本の科学分野は先細りになってしまうだろう。
4909	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ(ターゲットタンパク研究プログラム)	このまま推進すべき	私は、東京大学大学院農学生命科学研究科にて、革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ(ターゲットタンパク研究プログラム)からの研究費にて研究活動を行っています。科学技術関係施策の優先度判定について、本プログラムをこのまま推進してもらいたいと思っております。	本プログラムの研究課題であるタンパク質の構造および機能解析は、生命現象の解明や創薬に繋がる重要な研究であります。本研究の結果は、新薬開発などにより私たちの生活レベルで十分還元されるものと考えられます。従って、本プログラムは、優先度の高いものと考えられます。現在本プログラムは終盤に差し掛かっており、私自身もデータが出始めた段階になっておりますので、是非ともこのまま推進していただきたいと考えております。
4910	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	経済産業省	27124	バイオマスエネルギー等高効率転換技術開発	このまま推進すべき	我が国独自のバイオマス利活用技術により生物資源の有効利用を実現するものであり、一層の拡充が望まれる	本プロジェクトの推進により、我が国独自のバイオマス利活用技術が様々蓄積している。今後ますます再生可能バイオマスの利用拡充が必要となる現状において、本プロジェクトの成果のさらなる活用が求められる。
	大学・公的						研究を行う上で、ほぼ唯一の財源がこの科学研究費補助金である。大学を通じての補助金や寄付等も存在するが、残念ながら現時点では、研究費全体におけるメジャーな要素ではない。したがっ	国際的な競争力を維持し、回復していくためには科学技術水準の維持・向上が欠かせない。その活性化のめ

4911	研究機関 (独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	て、日本の科学研究活動を活性化するには、この科学研究費補助金を増強する他ない。経済的に余裕のない社会状況ではあるが、長い目で見た時には科学技術の振興は極めて重要になると考えられる。今後もわずかずつでも拡張していくべきである。	とも有効な支援策が、人材育成と研究費支援である。研究の成果が目に見えるようになるには時間がかかることを理解したうえで、長期的な視点で支援をすることが大切であると考ええる。
4912	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24015	観測・予測研究領域	このまま推進すべき	地震・火山災害の多い我が国にとって、国民の安全を確保するための研究開発は重要であるので、多くの研究者の叡智を集めて推進すべきである。	地震・火山災害による国民の不安を取り除き、国民が安心して生活できる社会を実現することは、国家の基盤的な力を増すことにつながるから。
4913	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	ターゲットタンパク研究プログラムについて、是非このままプロジェクトを推進していくよう、予算要求に沿った予算編成を進めていただきたいと思ひます。	私は現在上記のプロジェクトに研究員として参加させていただいております。本プロジェクトは現在佳境に入っており、これまでも多数の価値のあるデータが報告されてきました。本プロジェクトには多数の研究員が参加しており、予算の多くはその人件費に使われております。ここで大幅な予算の削減があると、多くの実験を行う研究者の数が減り、これまでのまさにまとめに入らんとする課題の幾つかが中途半端な形で終了してしまう恐れがあると思ひます。これまでに費やしてきた予算を無題にしない意味でも、優先度を高めた予算編成をしていただけたらと思ひます。
4914	小・中・高校	～19歳	文部科学省	24124	植物科学研究事業	このまま推進すべき	遺伝子組み換え植物の安全性の確認を主とした、植物バイオ全体に広く関わるものだから	この事業は必要だと思ひうから。
	大学・公的研究機関	40～	文部			このま	日本の中小型衛星の打ち上	現在日本には、中小型衛星の打ち上げに適したロケットが無いから、

4915	(独 法・ 公設 試等)	49 歳	科学 省	24167	固体ロケット	ま推 進す べき	げに不可欠なため、このまま 推進すべきである。	新型固体ロケットを開 発することが早急に望 まれる。
4916	民間 企業	40 ～ 49 歳	文部 科学 省	24148	理科支援等 設備整備補 助金	このま ま推 進す べき	理科支援等設備整備補助金 は今後も予算を増やして頂き たい。	理科支援等設備整備 補助金は理科好きの 子供を育てる事、引い ては日本の科学力に 大きく貢献していると思 われます。他国に負け ない科学技術力を子 供のうちから学習する 事が今後ますます必 要と感じます。
4917	民間 企業	50 ～ 59 歳	厚生 労働 省	25101	先端的基盤 開発研究 (創薬基盤 推進研究)	このま ま推 進す べき	創薬のための基盤整備に関 する研究は、国として、国民 の健康増進及び先進的な創 薬を柱とした科学技術立国を 目的に据え、最優先で実施 すべきである。	長寿社会において高 齢者が生き生きと生活 出来るためには、病氣 の解明や予防法、治療 薬の開発が非常に重 要である。そのための 研究の基盤を支える技 術及びモデル動物など の研究資源の開発整 備を、国として中・長期 的展望のもとで優先的 に行う必要があるた め。
4918	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・ 公設 試等)	20 ～ 29 歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このま ま推 進す べき	日本では2008年にノーベル 賞受賞者が4人も同時に選 出されました。特に彼らが先 駆的で重要な研究をしてきた ことは、以前から研究者の間 では明らかで、漸くの受賞と いう印象があります。この事 実は日本の研究者の質の高 さが世界的にも受け入れら れてきたということの意味し ていると考えてよいでしょう。現 在、特に基礎研究に関する 分野の重要な研究施設の多 くは、国際化、大型化の一途 を辿り、更なる質の向上を競 い合っています。ここで科研 費の優先度を下げて優れた 研究者達の活躍の場を奪う べきではありません。優れた 研究者が育つことができる文 化的下地は既に整っている のですから。	2008年のノーベル賞受 賞者のうち、小林先生 益川先生にはKEK Bフ ァクトリーという日本の 加速器の施設の貢献 が背景にあります。Bフ ァクトリーは国際競争 に勝ち抜き、彼らの予 想したCP対称性の破 れの発見に大きな貢献 をしました。このような 発見までの一連の流 れには日本独自の実 験施設への科研費の 資金的援助は勿論不 可欠でありました。この 理論実験両面への日 本の働きが評価されて います。つまり、ノー ベル賞などで評価され てきた理論的な研究の評 価も日本独自の素晴ら しい実験的な検証に支 えられている面があり ますから、科研費によ って優れた研究者、特 に実験施設への投資 を続けていって欲しい

								のです。
4919	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費無しでは、研究活動を行うことはできない。	資源に乏しい日本は優れた科学技術で世界に出て行くしかない。国として学術研究に投資して欲しい。
4920	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24001	大学発グリーン・イノベーション創出事業	このまま推進すべき	重要な施策であり、推進すべき。	グリーン・イノベーションを起こすには、大学が有する知や人材育成機能を活用することが一番の近道であるため。
4921	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24004	次世代がん研究戦略推進プロジェクト	このまま推進すべき	個別化医療の実現	がん治療における薬剤効果は、個人個人により効果が異なる。早急に遺伝子解析を利用することにより、個別化医療を実現してほしい。
4922	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24154	研究者の養成(海外特別研究員、若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム)	このまま推進すべき	若手の時期に長期間海外のトップクラスの研究機関で研究に専念する経験は、研究者生涯にとって大きく生きる。私はまだ、海外特別研究員が総数10名だったころに選ばれて派遣された。このときの成果だけではなく、築いた人脈が大きな資産となっている。	現在、将来ある若手研究者がなかなか海外に出て行かず、内向きと言われている。海外特別研究員は非常に重要なキャリアパスで、より多くの若手研究者が広い視野に立ち研究を進めることができるようになるため、意義が高い。
4923	民間企業	60歳～	文部科学省	24143	大学院教育改革推進事業のうち、グローバルCOEプログラム	このまま推進すべき	基礎科学の重要性を国家として取り組むべきである。	教育の衰退は国家の荒廃である。
4924	大学・公的研究機関(独法・	30～39歳	文部科学省	24116	オーダーメイド医療の実現プログラム	このまま推進すべき	今やらなければ日本の科学の将来はないと思います。	ゲノム医学は重要で、将来の日本の科学の根幹をなすと思うから。

	公設 試等)							
4925	大学・ 公的研究 機関(独 法・公設 試等)	30 ～ 39 歳	文部 科学 省	24122	革新的タン パク質・細胞 解析研究イ ニシアティブ	このま ま推 進す べき	ターゲットタンパク研究プログラムについて、是非このままプロジェクトを推進していけるよう、予算要求に沿った予算編成を進めていただきたいと思います。	私は現在上記のプロジェクトに研究員として参加させていただいております。本プロジェクトは現在佳境に入っており、これまでも多数の価値のあるデータが報告されてきました。本プロジェクトには多数の研究員が参加しており、予算の多くはその人件費に使われております。ここで大幅な予算の削減があると、多くの実際に実験を行う研究者の数が減り、これまでのまさにまとめに入らんとする課題の幾つかが中途半端な形で終了してしまう恐れがあると考えます。これまでに費やしてきた予算を無題にしない意味でも、優先度を高めた予算編成をしていただけたらと思います。
4926	民間 企業	30 ～ 39 歳	総務 省	20106	準天頂衛星 システムの 研究開発	このま ま推 進す べき	測位技術の実証に加え、利用サービスの技術開発を民間企業に広く求める機会を創出すべきである。	準天頂衛星1号機の打ち上げが成功した現在、測位技術実証と利用サービスの開発が急がれる。また、これらの技術開発によって、以降の打上計画が加速するものと思われ、早急に推進すべきでと考える。
4927	大学・ 公的研究 機関(独 法・公設 試等)	50 ～ 59 歳	文部 科学 省	24149	国立大学法 人等施設整 備	このま ま推 進す べき	人材育成の場である大学の施設の整備は重要である。	天然資源のない我が国においては、人財こそが資源であり、それを作り出す国立大学の施設を整備することは重要である。我が国の大学の設備の老朽化を目にすると、このまま放置することは、人財の損失につながる容易に予想できるから。
								最近の学生の多くは向上心がない。 彼らは日本が少子化しているため競争が緩和

4928	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24013	理数学生育成プログラム	このまま推進すべき	協力に推進すべき	されていると 思っている。向学心のある学生に、才能を伸ばす 制度を提供すべきである。 そのために、大学によっては異なるアドミッション・ポリシーを採用していることがあるので、異なる大学の学生の間の交流を促進することは、良いと思う。
4929	その他	50～59歳	経済産業省	27018	次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等	このまま推進すべき	環境に優しい省エネ照明技術の開発は、国策として是非推進すべき技術開発と思います。	昨今の異常気象では、地球温暖化の影響を実感させられます。地球に優しいエコ技術は、日本の持続可能な経済発展のための産業の要になると期待しています。特に有機ELを用いた照明は、省エネであるのみならず、意匠的にも、新しい照明の未来を予感させます。世界に先駆けて是非成功していただきたいと、期待しています。
4930	民間企業	30～39歳	文部科学省	24169	我が国の宇宙技術の世界展開	改善・見直しをした上で推進すべき	【施策の目的】において、「宇宙新興国が宇宙システムを活用する上で必要な能力開発や人材育成・派遣をパッケージとして提供することにより、我が国の優れた衛星開発技術、衛星データ利用技術等の展開を図る。」とありますが、以下とすべく意見を致します。 「宇宙新興国が宇宙システムを活用する上で必要な能力開発や人材育成・派遣、及び当該国において有益な宇宙利用分野の萌芽となるべく試行的事業をパッケージとして提供することにより、我が国の優れた衛星開発技術、衛星データ利用技術等の展開を図る。」 「、及び当該国において有益な宇宙利用分野の萌芽となるべく試行的事業」を追記。	【施策の重要性】においても「宇宙新興国の傾向としては、導入当初のシステムが長期に亘って、当該国のスタンダードになる可能性が高く、地道な「地ならし」が技術の囲い込みにつながると考えられる。」とあります。 更に当該新興国において真に受け入れられるためには当該新興国において真に有益性を理解され導入後に利活用が推進される為にも、単純なシステム導入に留まらず、展開先国のニーズの的確な把握による利活用分野を見通した試行的事業を実施しより着実に定着し歓迎される展開が必要と考える為。
	大学・公的研究	20			大学院教育改革推進事		分野を牽引していく大型研究	分野を牽引していく大型研究がいくつもある

4931	機関 (独 法・公 設 等)	～ 29 歳	文 部 科 学 省	24143	業のうち、グ ローバル COEプロ グラム	このま ま推 進 す べ き	には現状のG-COEのような 大型の予算が不可欠であ る。	ことは国力を示すパラ メータの一つであろう。 G-COEは優れた成果 をあげてきたと感じて いる。
4932	民間 企 業	30 ～ 39 歳	文 部 科 学 省	24169	我が国の宇 宙技術の世界展開-最 先端宇宙科学・技術と人 材育成をセットにした新 たな海外展開戦略【特 別枠該当施策】	このま ま推 進 す べ き	ハードに加え、利用技術や人 材育成も含めたパッケージ 展開はわが国の産業界全体 において期待が持てる施策 である。特に地球観測衛星 の利用技術については海外 需要が高まっているため早 急に推進すべきである。	森林REDD、インフラ輸 出、資源開発等、海外 における地球観測衛 星の利用技術ニーズ は急速に高まっている。 その為、衛星リソー スの補強と利用技術の 高度化は急務であり、 早急に推進すべきと考 える。
4933	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設 等)	60 歳 ～	総 務 省	20003	新世代通信 網テストベ ッド(JGN-X)構 築事業	このま ま推 進 す べ き	新世代ネットワーク研究開発 競争に関して、欧米に追いつ き追い越すためには、アジア 域内の全ての研究ネットワ ークが参加するAPANを通じ て、中国、韓国、インド等にお けるリーダーおよびその研究機 関を組織化した上で、これら の国をテストベッドで接続し 最先端の国際共同研究を実 証的に推進することが重要 である。	国際標準化を達成する ためには、技術だけで なく、支援者を組織化 し、市場を制することが 肝要である。 欧米諸国は、世界の人口の60%以上を占める アジアを重要視して、 既にアジアの代表的な 研究機関と競争研究を 進め、覇権を握ろうと している。これらの進出・ 切り崩しに対処するた めには、既に組織化さ れているAPANを活用し、アジア諸国を組織 化して新世代ネットワ ークに関する最先端研 究を進めることで、国 際標準化が可能とな る。その結果、これら の研究に参加した企業 はアジアを含む世界市 場に進出できる。
4934	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・公 設 等)	40 ～ 49 歳	文 部 科 学 省	24133	科学研究費 補助金	このま ま推 進 す べ き	一般企業などでも行われて いる近い将来の利益を期待 する研究は、我々の生活を 豊かなものにする点で重要 だと思いますが、そのような 利益をすぐに期待できないよ うな基礎科学の研究も、自然 の真実を明らかにし理解す ることで人間に精神的、知的 な豊かさをもたらすという点 で非常に重要だと思いま す。さらにそのような基礎科学の 基盤なしに、人間生活を将来	近年の小林氏、益川氏 のノーベル物理学受賞 などのことをみても、世 界の中でも日本は基 礎科学の分野で非常 に貢献して来たもの と思います。このよう に日本人が世界に向け て重要な貢献ができる 基礎科学の分野をこれ からも強くサポートし ていくことは、引き続き日 本が世界の中で貢献し ていくために非常に重 要だと思えます。最近

	試等)						において豊かにする応用科学の発展も期待できないと見えます。科学研究費補助金は、このような基礎科学の研究をもサポートするもので、これからも強く推進していくべき施策だと思えます。	の不景気な状況では軽視されかねないこのような基礎科学の分野のサポートですが、きちんと日本の将来を見据えた視点をもって科学研究費補助金は推進していくべきだと思えます。
4935	民間企業	30～39歳	経済産業省	27156	次世代地球観測センサ(高性能ハイパースペクトルセンサ)等	このまま推進すべき	世界各国においてもハイパースペクトルセンサの衛星開発が進められている現在、世界に先駆けた技術開発が望まれる。	資源獲得競争が繰り広げられている今日、日本固有の新たなリモートセンシング技術として海外展開が可能となるメリットは多大であると考えます。また、新たな解析技術は森林・農業といった現在再生が求められる産業の効率化・高度化に繋がると考える。
4936	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24170	Bepi Colombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	日欧大型共同科学プロジェクトであり、科学的意義も大きいため、本施策を推進すべきである。	「はやぶさ」・「あかつき」と日本の惑星探査を継続し、水星は固有磁場を持つ地球型惑星で、まだ詳細な探査はされておらず、太陽系探査を通して太陽系形成等の謎を解明するためにも、推進すべきである。
4937	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	研究者個人のアイデアに基づいた研究を支える数少ないリソースであり、絶対絶やしてはいけない。	個人のアイデアが入り込む余地の少ない大プロジェクト研究は科研費はそぐわない。科研費一つあたりの研究費は減らして、採択率をあげるべきである。また、年度をまたいで使用できるように柔軟化するべきだ。
4938	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	文部科学省	24130	ライフサイエンス基盤研究領域事業	このまま推進すべき	早急な遺伝子解析の実現	昨年は新型インフルエンザが世界的に大流行した。今後新たな感染症が流行することが予想されるため、早急に対応できる基盤が必要である。流行してからの対応では遅い。
								この加速器は世界最高の性能をもち、世界の研究者から待望されていたものである。こ

4939	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	大強度陽子加速器施設(J-PARC)という、日本が世界に誇る先端加速器を用いて、基礎科学を進めてほしい。	の計画を一層推進することで、日本が当分野で世界を確実にリードできる。また、研究現場での国際協力が進んでおり、すでに実際に多くの外国人研究者が参加している。今後さらに海外からの人的、資金的な協力が得られることは確実である。世界最高の施設で研究を行うことは基礎科学の若手研究者育成にとってきわめて有効であり、日本がこれらの基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高め、技術革新や産業の創出につながり、長期的な日本の発展に寄与するものである。
4940	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	研究者の立場として、基礎的な個人研究を推進する上で不可欠であると考えます。基盤Cや若手Bなど多くの研究者に基礎的な研究を推進する機会をもっと拡充していくのが良いと思います。	研究者の自由な発想にたいして、研究費を支援するプログラムであり、科学技術の裾野を広げるという点において重要であると考えます。また斬新なアイデアや学術的価値の高い研究が必ずしも大型プロジェクトのような予算が必要ではないため、科学研究費補助金のようなシステムは、研究の継続性を確保する上でも不可欠であると思います。
4941	民間企業	60歳～	国土交通省	28001	高度な国土管理のための複数の衛星測位システム(マルチGNSS)による高精度測位技術の開	改善・見直しをした上で推進すべき	マルチGNSSの活用は衛星測位の利便性向上のために有益であり、広く利用技術開発を進めていくことには賛成します。ただし、わが国の衛星測位政策としては、GPS、QZSS、GLONASS、Galileoをすべて横並びに考えるのではなく、GPSを準天頂衛星	当面、わが国の測位基盤として最も実際的であるのは、精度、信頼性、地域カバレッジ等からみてGPS+QZSS補完・補強であり、これを優先してインフラ整備を進めていくことが適当と考えます。また、衛星測位システムを、国境画定・国民の財産権管理など国家主権の行使基盤としてとらえた場合も、米国GPSとの協調を基本にQZSSによって我が国

					発		により補完・補強することを優先・前提として国の測位基盤の整備を行っていくべきであると考えます。	としての基盤を確立しつつ、利便性の向上を図るのが適切と考えます。なお、GLONASSについては、現状GPSと比べ精度が低いこと、FDMAへの移行計画、カントリーリスクなどの懸念に配慮が必要と考えます。
4942	民間企業	30～39歳	環境省	29104	途上国の森林に係る削減・吸収量の測定事業	このまま推進すべき	REDDプラスに係る事業は、林野庁、経済産業省等の関連省庁および、現在先行して取り組みをしている民間企業と積極的に協業するべきである。	REDDプラスはわが国の排出削減目標達成のために不可欠な要素であるとともに、世界におけるイニシアチブを確保するため、日本固有の技術を駆使した研究開発を早急に進めるべきである。
4943	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24154	研究者の養成(海外特別研究員、若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム)	改善・見直しをした上で推進すべき	採用枠を現状より増やすべき。博士課程学生への援助は各大学でも進んでいる(例えば東京大学では博士課程学生の学費は実質的に免除されている。)のでDCを削減してもよいと思う。	急激に進行している国際化に対応できる若手研究者の数は非常に少ないと感じている。英語で十分に科学的議論を行うには海外での研究生活を体験するのが、最も良い手段であるのは疑いがないと思う。
4944	大学・公的研究機関(独法・公設等)	60歳～	経済産業省	27007	次世代印刷エレクトロニクス材料・プロセス基盤技術開発事業	このまま推進すべき	基板上にプリント方式でトランジスタを始めとした各種素子や配線を形成してデバイスを作製する分野では、この産総研グループが世界の最先端、トップを独走している。 次世代印刷エレクトロニクスは将来、1枚基板のデバイスのみならず、それを何枚も重ね合わせて構築される「積層」印刷エレクトロニクスデバイスに発展すると考えられる。 以上の点から、このプロジ	これまで半導体産業は集積度を上げる事によって、従って、より小さな回路やトランジスタ高密度に作成する事によって、計算速度や小型化を計って来た。しかし、小型化は必ずしも発展の一つの方向ではない。人間が直接利用するヒューマンインターフェース(キーボード、ディスプレイ、マウス、タッチパネルetc)は、人間的な大きさ(20～30cm)を持つ事が自明である。その大きさ(1/1～1/10)に匹敵するエレクトロニクスが必然的に重要性を持ち、今後の開発に拍車がかかるに違いない。この様な比較的大面積のエレクトロニクスの製造法としては、?大量生産性、?簡便さ、?環境への配慮と言った

						エクトを国レベルで推進実行してしかるべきだと考える。	点から、印刷法がメジャーとならざるを得ない。 将来的には液晶バックライトの裏側に、そのディスプレイ用のメモリーやグラフィックプロセッサ等の複数個の印刷エレクトロニクスを組み込んだ、オールプラスチック製のiPadのような民生用機器が開発される事すら想像するにたたく無い。	
4945	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	RIビームファクトリーという、日本が世界に誇る先端加速器を用いて、基礎科学を進めてほしい。	この加速器は世界最高の性能をもち、世界の研究者から待望されていたものである。この計画を一層推進することで、日本が当分野で世界を確実にリードできる。また、研究現場での国際協力が進んでおり、すでに実際に多くの外国人研究者が参加している。今後さらに海外からの人的、資金的な協力が得られることは確実である。世界最高の施設で研究を行うことは基礎科学の若手研究者育成にとってきわめて有効であり、日本がこれらの基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高め、技術革新や産業の創出につながり、長期的な日本の発展に寄与するものである。
4946	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24141	特別研究員	改善・見直しをした上で推進すべき	若い研究者個人のアイデアに基づいた研究を支える数少ないリソースである。アイデアは研究の鍵であり、絶対にやめてはいけない。	ポスドク問題が深刻である。定職を持つ者は、海外特別研究員に採用すべきではない。
							これまで以上に、強力に推進すべきである。	科学研究費補助金は大学と共に基礎研究を担う研究機関の研究を発展させてきた。公的

4947	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	特に自由な研究基盤を置き、国家・社会の知的拠点たる大学の研究水準を維持発展させるための最も重要な資金である。世界の中で日本の地位を維持・向上させるためには大学の水準を飛躍的に引き上げる必要がある。科学研究費はこの目的を効果的に果たしている。また、次代を担う学生・若手研究者の教育・研究レベルの向上に果たす役割も極めて大きい。しっかり推進しないと、韓国はおろか中国にも追い抜かれ、知的水準の高い先進国として、世界の尊敬も得られなくなるだろう。	に措置される研究資金には研究者の発想に基づくボトムアップ型のものと、政策誘導型のものがあるが、科学研究費はボトムアップ型として、日本が世界に占める知的地位に持続的向上だけではなく、時に全く予期しないブレークスルーをももたらす可能性を持っている。一方、財政の透明性が強く要請される中で、科学研究費はピアレビューに基づく公平な審査で採択され、健全な競争環境の維持にも重要な役割を果たしている。
4948	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24174	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築	このまま推進すべき	現在、科学や産業界においてハイパフォーマンス・コンピューティングの果たす役割は、ますます重要になっているため、本施策を推進すべきである。	科学の進展、産業競争力の強化のために、次世代スーパーコンピュータと多様なユーザーニーズに応える計算環境を実現することは、大変重要である。
4949	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24138	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	このまま推進すべき	Bファクトリーという、日本が世界に誇る先端加速器を用いて、基礎科学を進めてほしい。	この加速器は世界最高の性能をもち、世界の研究者から待望されていたものである。この計画を一層推進することで、日本が当分野で世界を確実にリードできる。また、研究現場での国際協力が進んでおり、すでに実際に多くの外国人研究者が参加している。今後さらに海外からの人的、資金的な協力が得られることは確実である。世界最高の施設で研究を行うことは基礎科学の若手研究者育成にとってきわめて有効であり、日本がこれらの基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高め、技術革新や産業の創出につながり、長期

							的な日本の発展に寄与するものである。
4950	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24170	BepiColombo(水星探査プロジェクト)	このまま推進すべき	本施策を予定通り推進すべきである。
4951	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24116	オーダーメイド医療の実現プログラム	改善・見直しをした上で推進すべき	医療情報収集及び、データ入力方法にMCの個人の考えによる部分が見受けられ、各施設間でのばらつきがあるように思われる。また、協力者も結局よくわからないまま協力している部分が見受けられ、協力者に渡すパンフレット等も研究者目線の難解なものが多く、もう少し協力者が何に協力しているのか、自分の検体はどう役立っているのかが、わかりやすいようにしたほうが良いように感じます。また、厚生労働省ともリンクして、治験とも関連させていければ書く製薬企業にとってもより発展したプロジェクトになっていくのではないかと思います。
4952	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	特に革新的細胞解析プログラム(セルイノベーション)においては、次世代シーケンサーを効果的に用いた質の高い研究により、従来の知見を活用し更に深く細胞機能を解明する研究課題に取り組んでいる。本施策をこのまま推進することにより、個々の採択課題の成果が連携し、個体発生や癌化機構など近い将来の医療や生活の質の向上に資する成果が期待できる。

4953	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	採択率を向上させることは望ましい。また、高い研究成果が期待できる研究に対しては、比較的大きな研究費を配分する制度の拡充も望ましい。	国内の研究者にとって、科学研究費補助金の制度は不可欠のものであり、科学立国を支える貴重な礎となっている。従って、裾野を広げる意味で採択率を挙げることは望ましい。その一方、大きな成果が期待できる研究に対しては中途半端にならないような十分な配分が望まれる。
4954	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24119	ナショナルバイオリソースプロジェクト	このまま推進すべき	ナショナルバイオリソースプロジェクトは、特に重要、国際貢献度が高いものに対して、今までよりさらに強かに推進すべきと考えます。	現在27の生物種に対して事業が行われています。特にゼブラフィッシュは、我が国のリソースの独創性から国内だけではなく、国外からもひっきりなしに請求され、ひんぱんに提供しています。このように、リソースとして現在の科学に対して貢献度が高いものから、逆に貢献度が低いものまでさまざまであります。また経費の有効利用についても、再考する余地があります。これらを考慮し、改善した上でこれまでより強かに推進すべきと考えます。
4955	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24131	ライフサイエンス基盤研究領域事業(内、生命分子システム基盤研究)	このまま推進すべき	生物は単純ではなく多数の分子システムの集合体である以上、これを理解するために行われる本研究領域は、優先度が高いという以上に、我々に生命活動を支える産業を後押しする基本的かつ必須な施策です。	これまでの、また現在進行中の研究結果が積み重ねられてきており、後にはブレイクスルーは必至でしょう。これに伴う直接的あるいは間接的な利を逃さないためにも、またそれらの効果的な成果移転を行うための継続した整備のためにもこのまま推進すべきと考えます。
4956	民間企業	40～49歳	文部科学省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このまま推進すべき	花粉症などのアレルギーを治す方法を一日も早くつくっていただきたい。	私自身も子供の頃から30年近くも花粉症に悩まされてきたが、4歳になる長女もアレルギーの傾向がみられる。体質が遺伝したものと考えられるが、遺伝のメカニズムを明らかにして、またワクチンの作

							成を早く成功させていた いただきたい。
4957	民間 企業	40 ～ 49 歳	文部 科学 省	24178	大型放射光 施設 (SPring-8)	その他	実施体制に関してですが、理研が設置者としてSPring-8の運営の総括を行い、(財)高輝度光科学研究センター(JASRI)が理研から委託を受け、運転・維持管理業務を実施するというスキームは見直すべきです。できれば管理に係る権限を理研から文部科学省に移管して、JASRIに委託すべきだと思います。
4958	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・ 公 試 等)	20 ～ 29 歳	文部 科学 省	24125	免疫・アレルギー科学総合研究事業	このま ま推 進 す べ き	原因不明の難病の治療方法を確立してほしい。
4959	その 他	40 ～ 49 歳	文部 科学 省	24177	大強度陽子 加速器施設 (J-PARC)	このま ま推 進 す べ き	一般公開などで科学の重要性を認識しました。日本が外国と競争して豊かな生活を送るためにも様々な分野の研究を行っているJ-PARCを推進して欲しいと思いました。
	大学・ 公的						わが国には、世界最高の性能をもち、世界の研究者から待望されている加速器がある。これらの計画を一層推進することで、日本が当分野で世界を確実にリードできる。世界最高

4960	研究機関 (独法・公設等)	30 ～ 39歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	J-PARC、RIBFの推進やKEKB高度化など、先端加速器による基礎科学を進めてほしい。	の施設で研究を行うことは基礎科学の若手研究者育成にとってきわめて有効であり、日本が基礎科学で世界最高水準を維持することは、国民の教育、文化レベルと活力を高め、技術革新や産業の創出につながり、長期的な日本の発展に寄与するものである。
4961	民間企業	20 ～ 29歳	文部科学省	24169	【我が国の宇宙技術の世界展開】	このまま推進すべき	【施策の目的】において、「宇宙新興国が宇宙システムを活用する上で必要な能力開発や人材育成・派遣をパッケージとして提供することにより、我が国の優れた衛星開発技術、衛星データ利用技術等の展開を図る。」とありますが、以下とすべく意見を致します。 「宇宙新興国が宇宙システムを活用する上で必要な能力開発や人材育成・派遣、及び当該国において有益な宇宙利用分野の萌芽となるべく試行的事業をパッケージとして提供することにより、我が国の優れた衛星開発技術、衛星データ利用技術等の展開を図る。」 「、及び当該国において有益な宇宙利用分野の萌芽となるべく試行的事業」を追記。	【施策の重要性】においても「宇宙新興国の傾向としては、導入当初のシステムが長期に亘って、当該国のスタンダードになる可能性が高く、地道な「地ならし」が技術の囲い込みにつながると考えられる。」とあります。 更に当該新興国において真に受け入れられるためには当該新興国において真に有益性を理解され導入後に利活用が推進される為にも、単純なシステム導入に留まらず、展開先国のニーズの的確な把握による利活用分野を見通した試行的事業を実施しより着実に定着し歓迎される展開が必要と考えられる為。
4962	大学・公的研究機関 (独法・公設等)	40 ～ 49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	数学においては、大型の科学研究費補助金を少数の研究者に配分するのではなく、小型のものを多くの研究者に配分の方が費用対効果の点ですべてしている。	数学の発展になによりも必要なのは研究時間である。予算を特定の個人に集中してしまうと、研究よりむしろ予算をいかに有効利用するかエネルギーが取られてしまう。
4963	民間企業	20 ～ 29歳	文部科学省	24126	ゲノム医科学研究事業	このまま推進すべき	日本の将来にとって必要な研究だと思う。	今後のゲノム科学の発展に必要な不可欠な施策だと思うから。
								当該施策の実施は、情報通信研究機構のリーダーシップの下、明確な目標を定め、各々

4964	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	総務省	20115	先端ICT技術に関する研究開発	このまま推進すべき	このまま推進すべきである。推進にあたり、各個別分野の直接研究費だけでなく、共通の研究インフラの整備にも、同程度のバランスをとることを望む。	この項目で研究成果を蓄積しつつあることから、このまま推進するのが望ましい。一方、その技術的基盤は、材料工学・基礎物理(量子光学)を背景としており、技術成果を広く社会に還元する方策として、大学等との連携協力、インフラ整備が極めて有効である、と考える。
4965	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	優れた若手研究者への支援をお願いしたい。	優れた学生であつても、現状のようにアカデミックポジションに就けない状況では、研究者を志すことは難しい。優れた学生、若手研究者を国として支援して欲しい。
4966	大学・公的研究機関(独法・公設等)	50～59歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	さらに発展させつつ推進すべき分野である。未知の物質を創り出し、それらの根源的な性質を明らかにする先端的で基本的な知をもたらして欲しい。国際的な協力を進めて、基礎科学における日本のプレゼンスを高めてほしい。	日本が世界をリードしている数少ない先端分野である。厳しい競争の中にあつて、既に世界トップに立っている分野は本当に少ない。宇宙での元素生成の道筋を明らかにするのに必要な知識をもたらすのも理由のひとつである。
4967	その他	30～39歳	文部科学省	24006	ライフサイエンスデータベース統合推進事業(仮称)	改善・見直しをした上で推進すべき	多額の国費を投入して得られたライフサイエンスのデータについては、国民が広く恩恵が受けられるように、例えば、クリエイティブ・コモンズのライセンスなどを利用して、オープンアクセスが保証されるべきであると思います。既に、文部科学省傘下の理化学研究所では、クリエイティブ・コモンズのライセンスを利用したライフサイエンスデータの公開が行われているので、それを参考にして、省庁横断的に連携して本事業も進めるべきであると思います。	欧米では、クリエイティブ・コモンズのライセンスが有効活用されており、公益性の高いデータについては、オープンアクセスがかなり保証されており、国民への利益還元が行われています。しかし、日本では、国費を投入した得られたデータの有効活用が依然として遅れているように思われるからです。私は、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンの事務局スタッフをしているので、御質問等についてはお気軽にお問い合わせ下さい。
	大							現在、若手研究者の置かれている状況は厳し

4968	学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24141	特別研究員事業	このまま推進すべき	若手研究者を支援するために、現状において必要な重要な資金である。	く、若手研究者に対して経済的な支援を行わなければならない、彼らの研究者としての道を閉ざしてしまうことになりかねない。若手研究者の成長なくして我が国の科学研究の未来はない。
4969	民間企業	30～39歳	総務省	20110	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	このまま推進すべき	一般的な意見としてコメントさせていただきます。我が国の光通信技術を応用した次世代ネットワークの標準化を目指すことは国際競争力の強化とともに我が国の発展において重要な鍵となるものだと思います。また本件とは異なりますが、このような内閣府での科学技術関係施策の優先度判定等の実施に関するパブリックコメントの募集ですがもっと広く一般にアピールして多くの意見を求めるべきであると思います。過去の意見をみても専門的な意見が多く、果たして私のような一般の人がそれぞれの施策に関してどのような考えをもっているのかを調査しているとは言い難いです。事業仕分けだけがクローズアップされますが、このような活動こそアピールすることで国民が参加できるものなのだと思います。	ICT利活用の増進に伴いネットワークの高速化大容量化は必須であり、同時に低消費電力化の実現を研究開発している意味は大きいと思います。本技術は次世代ネットワークと成り得るものであり、もし国際標準化獲得・産業財産権取得が実現すれば大きな技術資源となります。現在、通信に関わる技術はいわば輸入したようなものであり次世代ネットワークこそ我が国の技術資源として輸出していくものであるべきです。この分野の研究を縮小することは国際競争力の低下を意味し、鉱物資源を持たない我が国にとって、本来国家プロジェクトとして積極的に取り組んでいくものであると思います。
4970	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	RIビームを使った研究は日本が牽引している。世界中で新世代加速器を計画しているが、実現しているのはRIビームファクトリーが唯一。これから10年は世界一の状態が続く。装置を作る段階で負けるなら仕方ないが、世界一の装置を持って使いこなせないのでは恥ずかしい。	宇宙開発や高エネルギー物理ほど華やかではないが、技術、理論とも、非常に高いレベルにある。物理の内容も多彩である。ここで途絶えると大切な財産を二度と取り戻すことができなくなる。
4971	大学・公的研究機関	30～	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設	このまま推進	本施策に対を、国の強力な支援のもとに推進することは、日本国の科学技術能力	基礎科学研究の中心であり、なおかつ、世界でもトップクラスの加速器施設であるJ-PARCの成果は、今後日本の科学の進歩には欠かせない。この分

	(独 法・ 公設 試等)	39 歳	省		(J-PARC)	す べき	の 向 上 の み な ら ず、 全 世 界 か ら 人、 す な わ ち “ 知 ” を 結 集 す る 礎 と な る と 考 え る。	野 へ の 戦 略 的 投 資 は、 日 本 の 科 学 研 究 を ト ッ プ レ ベ ル と す る、 ま た、 確 実 に リ ー ド す る た め に 必 要 不 可 欠 な も の で あ る と 考 え る。
4972	大 学・ 公 的 研 究 機 関 (独 法・ 公設 試等)	30 ～ 39 歳	文 部 科 学 省	24119	ナ シ ヨ ナ ル バ イ オ リ ソ ー ス プ ロ ジ ェ ク ト	こ の ま ま 推 進 す べき	バ イ オ リ ソ ー ス 事 業 は 拡 充 も し く は 現 状 維 持 こ そ す れ 縮 減 は 絶 対 に 避 け る べき で あ る	日 本 の 生 物 学 研 究 は 世 界 で ト ッ プ ク ラ ス で す。 本 事 業 で 維 持 さ れ て い る リ ソ ー ス は、 そ れ ら の 研 究 が 生 み 出 し た 成 果 そ の も の で あ り、 新 た な 研 究 成 果 を 生 み 出 す 源 で も あ り ま す。 事 業 の 縮 減 は、 こ う し た ポ ジ チ ブ な 循 環 を 断 ち 切 る も の で あ り、 日 本 に と つ て 自 ら 成 長 の 道 を 絶 つ こ と に ほ か な り ま せ ん。
4973	大 学・ 公 的 研 究 機 関 (独 法・ 公設 試等)	50 ～ 59 歳	文 部 科 学 省	24149	国 立 大 学 法 人 等 施 設 の 整 備	こ の ま ま 推 進 す べき	こ れ ま で 通 り 継 続 的 な 施 設 整 備 を 進 め る べき で あ る。特 に、 中 堅・ 小 規 模 国 立 大 学 の 施 設 整 備 を 強 力 に 推 進 し て い た だ き た い。ま た、 地 方 都 市 に あ つ て は 国 立 大 学 の 施 設 整 備 は 都 市 環 境 の 改 善 に も 大 き く 寄 与 す る。	当 局 の 努 力 に よ り、 国 立 大 学 法 人 等 の 施 設 整 備 は 進 ん で い る が、 ま だ ま だ 不 十 分 で あ る。最 新 の 設 備・ 環 境 を 備 え た 施 設 は 先 端 研 究 の 基 盤 で あ る。ま た、 ア ジ ア 諸 国 の み で な く 先 進 国 も 含 め 広 く 世 界 か ら 留 学 生・ 研 究 者 を 集 め る た め に も、 施 設 の 整 備 は 重 要 で あ る。さ ら に 施 設 整 備 は、 公 共 事 業 と し て の 側 面 も も つ か ら、 日 本 経 済 に 寄 与 す る と こ ろ 大 で あ る。
4974	大 学・ 公 的 研 究 機 関 (独 法・ 公設 試等)	30 ～ 39 歳	文 部 科 学 省	24126	ゲ ノ ム 医 科 学 研 究 事 業	こ の ま ま 推 進 す べき	是 非 こ の ま ま 推 進 し て く だ さ い。	多 く の ひ と の 身 体 的 苦 痛 を 取 り 除 く 重 要 な 研 究 だ と 思 い ま す。
4975	大 学・ 公 的 研 究 機 関	40 ～	文 部 科 学	24133	科 学 研 究 費	こ の ま ま 推 進	○ 我 が 国 の 研 究 者 の 研 究 活 動 を 支 え る 重 要 な 競 争 的 資 金 で あ り、 予 算 規 模 を 拡 充 す べき で あ る。 ○ 研 究 者 の 研 究 活 動 を 支 援 す る 重 要 な 制 度 で あ り、 着 実 な 予 算 確 保 が 必 要。 ○ 基 礎 研 究 を 行 う 大 学、 独 立 行 政 法 人、 民 間 企 業 の 研	○ 新 し い 研 究 テ ー マ に チ ャ レ ン ジ す る た め、 応 募 し や す い 研 究 資 金 制 度 で あ る。 ○ 新 し い 研 究 の 芽 を 育 て る た め に は、 採 択 率 を 上 げ て、 多 く の 研

	(独 法・ 公設 試等)	49 歳	省		補助金	すべき	研究所等に在籍する研究者が 応募できるもので、研究者が 応募しやすい研究資金である。 ○「若手研究(A)・(B)」は、 若い研究者にとって研究費 獲得の登龍門となっており、 大幅な拡充は必要である。	研究者を支援する必要がある。 ○ 大学等の研究費が 減少するなかで、公的 な研究資金による研究 支援は必要である。
4976	民間 企業	20 ～ 29 歳	文部 科学 省	24124	植物科学研 究事業	このま ま推進 すべき	遺伝子工学は将来性のある 研究対象であり、また組み換 え植物の安全性確認は日本の 食料安全保障のためには 必要なものです。	世界的にみて、将来的 な人口増加、それに伴 う食糧問題解決のため、収 穫性の高い植物を遺伝子組 換えによって生み出される ことは必至だと考えていま す。 これに対して、その安 全性を確認するための 研究はなくてはなら ないと思います。
4977	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・ 公設 試等)	30 ～ 39 歳	文部 科学 省	24164	高速増殖炉 サイクル技 術の研究開 発	改善・見 直しをし た上で 推進す べき	我が国では、軽水炉による 発電電力量が総発電電力量 の約30%を占めているとい う現状ですが、数十年より先 を見越したとき、エネルギー 安定供給のためには高速増 殖炉サイクルの確立は避けて は通れず、そのための研究 開発は急務であると思いま す。高速増殖炉サイクルの 実現に向けて技術は確立さ れつつある状況であるため、 予算額はむしろ増額方向と し、開発を加速すべきと考え ます。	同上
4978	その他	60 歳～	総務 省	20118	未利用周波 数帯への無 線システム の移行促進 に向けた基 盤技術の研 究開発	このま ま推進 すべき	高速化と広帯域化に向けて 加速度的に進展し続ける移 動通信の周波数需要に応え るためにはマイクロ波帯の解 放が急務であり、これまで マイクロ波帯を使用してきた 各種業務を準ミリ波あるいは ミリ波帯に移行させねばなら ない。このことを世界に先 駆けて実施していくことが 情報通信立国を標榜する日 本の大きな役割であると思 っている。これらの周波数帯 がシリコンCMOSの射程距 離の範囲に入った現在、単 なる技術開発にとどまるこ となく需要喚起を含めて国 策的に強力に推進されるこ とを期待する。	産学協同の研究開発 プロジェクトとしては従 来になくまとまった模 範的プロジェクトであ り、世界のトップレベル の技術が入手できよう としている。これを更に 進めて真の意味で他 に比類の無い技術とし て確立する必要がある と考えられるから。
								平成22年6月18日に閣 議決定された「新成長

4979	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24122	革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブ	このまま推進すべき	我が国のライフサイエンス全体の基盤を構築する施策として、また後述するように既に十分な検討履歴があり、経済的にも資本となる基盤を構築する施策なので、このまま推進すべきと思います。	戦略」実行計画(工程表)科学技術立国戦略の「基礎研究の強化とイノベーション創出の加速」において、「創薬・医療技術支援基盤の構築」が示され、タンパク質解析技術開発拠点を創薬等支援技術基盤プラットフォームとして広く研究者等が利用できるよう整備を行う、という明確な目標が掲げられている。
4980	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	総務省	20116	電磁波計測基盤技術の研究開発	このまま推進すべき	近年の科学技術の発展は、時間の計測技術の進展がブレークスルーの種となっているものが数多くある。これまでに実現されている計測精度をさらに高めようとする本研究課題は、野心的で日本の科学技術水準を高めるものであり、重点的に取り組まれるべきである。	光領域の周波数標準の研究開発は、現在の秒の定義の改訂につながる可能性があり、多くの国の研究機関で競うように取り組まれている。この分野での研究に十分な予算を確保しないと、我が国の研究水準が世界の一線から後退してしまうことになりかねない。
4981	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	ノーベル物理学賞を受賞した小柴さんを代表として、日本で行われてきたニュートリノ実験物理はこれまで世界をリードしてきたと思います。このJ-PARC実験は、これからも日本がニュートリノ実験物理をリードしていくためにはなくてはならないものであると言えます。さらにこの実験は単に日本が世界をリードする、ということだけではなく、ここでの実験結果次第では、素粒子物理の小林一益川理論では説明のできない宇宙での粒子と反粒子の非対称性の起源が、ニュートリノを通して明らかになっていく可能性もあるので、学術的にも非常に注目されている実験です。よってこの施策は強く推進すべきだと思います。	上にも書きましたように、J-PARC実験はニュートリノ実験物理を通して、素粒子物理学の未解決問題を明らかにしていく可能性がある非常に重要な実験だと思います。特に最近のアメリカのフェルミ研究所などで行われているニュートリノ実験結果をみると、まだ我々がニュートリノに関してよく理解をしていない可能性を示しているようにも見られるので、その意味でもJ-PARC実験は重要だと思います。ニュートリノ物理だけでなく、ミュオンを使った実験でも、素粒子物理学に非常にインパクトを与え得るレプトンフレーバーの破れの実験なども計画されていることから、この施策は今後も強く推進していくべきだと思います。
								科学研究費補助金はこれまで数学研究にお

4982	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24133	科学研究費補助金	このまま推進すべき	科学研究費補助金は我が国の基礎研究を支える資金として今後も存在していくべきである。	いて研究活動の基盤となる資金として活用され、優れた研究成果が科学研究費補助金の支援の下で生まれている。科学研究費補助金は短期的な経済的利益にはつながらないような基礎研究にとって非常に重要な資金である。
4983	民間企業	20～29歳	文部科学省	24107	(独)理化学研究所運営費交付金「環境・エネルギー科学」研究事業(内、バイオマスエンジニアリング研究)	このまま推進すべき	日本は面積こそは狭いものの、水資源に恵まれており、それによる森林・植物資源に恵まれている。バイオマス研究は、それら資源を将来的に有効利用する扉を開くものである。	バイオ関係事業については、将来性が見込まれる研究事業であるため、予算を削るべきではない。
4984	大学・公的研究機関(独法・公設等)	30～39歳	文部科学省	24126	ゲノム医科学研究事業	このまま推進すべき	重要な研究だと思います。このまま推進していけば重要な成果が期待できると思います。	これまでの成果からも今後の成果が期待できる。ゲノム医学は日本の将来に重要だと思います。
4985	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24129	バイオリソース事業	このまま推進すべき	日本のバイオリソース事業への継続的支援をお願いします。	研究活動は、高度な独創性を必要とする一方で、他の研究者が達成した成果を土台として使うことによって成り立っています。実験動物を用いる研究においては、多数の研究者がこれまでの研究によって作ってきた実験動物系統を、自由にやりとりできるような体制が整っていることが、研究を加速させるのに必須です。しかしながら、研究者個人個人が多数の実験動物系統を維持し続けるのには大変な労力が必要です。この点において、有用な実験動物資料を、研究者コミュニティを代表して、少数の機関で一括管理し、いつ誰にでも

								譲渡できるバイオリソ ース事業は、きわめて 効率的、かつ重要な事 業であると考えます。
4986	大学・ 公的研究 機関(独 法・公設 等)	30 ～ 39歳	文部 科学 省	24009	特別奨励研 究員事業	このま ま推進 すべき	人数が32人とあるが、分野 の数からすればもっと多く採 用すべきである。	次世代を担う若手の支 援は長期的観点からも 重要である。
4987	大学・ 公的研究 機関(独 法・公設 等)	30 ～ 39歳	文部 科学 省	24140	RIBIームファ クトリー計画 の推進	このま ま推進 すべき	これまで以上に推進すべき である。 世界最高性能の施設として、 既に アジアを初めとする多くの研 究者や 学生を受け入れているが、こ の体制をさらに推進して、国 際的な研究拠点と して整備するべきである。	研究による知の集積 は、そのこと自体が 極めて高い価値を有す る事を、国内 国外に啓蒙し、文化的 な国家を建設維持する 志を示すために必要な 研究拠点であると考え る。
4988	大学・ 公的研究 機関(独 法・公設 等)	40 ～ 49歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	このま ま推進 すべき	「挑戦的萌芽研究」の拡充が 要求されているが、これは大 いに推進すべきである。現状 の2倍といわず、さらなる拡 大が望まれる。我が国の将 来を担う革新的技術を開発 するためには、既に成果の 見通しが見えた短期的視野 の研究ではなく、真に挑戦的 な研究に果敢に取り組む必 要がある。挑戦的であれば あるほどその成功確立は低 く、多くの挑戦を行わなけ れば十分な成果は見込めな い。現状の「挑戦的萌芽研 究」の予算規模は十分な数 の挑戦的課題の採択には全 く不十分であり大幅な拡充が 必要である。	近年、ある程度成果の 見えた短期的研究に 大型研究費を集中投 資する傾向が強いが、 中・長期的視点に立 った我が国の将来発展 を考えた場合、将来の 我が国の経済を支え、 持続的発展に貢献し うる革新的技術に繋がる 挑戦的な萌芽研究にも 十分な支援をする必要 がある。このような研 究課題は、提案時点 では当然成果が見えにく いものであり、審査も 難しいことから、将来 の芽を摘むことがない ようなるべく多くの課題 に挑戦できるようにす べきである。
4989	大学・ 公的研究 機関(独 法・公設 等)	40 ～ 49歳	文部 科学 省	24133	科学研究費 補助金	改善・見 直しをし た上で 推進す べき	全体の額を増すべき。華や かなテーマだけでなく、 地道な、しかし、着実に進め ているテーマにも与えるべ き。 科学技術予算全体が競争資 金獲得を奨励する方向に動 いて いるのに、科研費のシステム がそれに対応しておらず、 全体として見ると矛盾をきた	日本はとにかく科学技 術立国を目指すしかない。 研究者が研究しやすい 下地を作って欲しい。

							している。	
4990	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24149	国立大学法人等施設の整備	このまま推進すべき	とくに最先端研究環境の整備は重要。さらに、ケンブリッジのニュートンインスティテュートのような、長期滞在型の研究者交流施設を、数カ所につくるべき。	最先端研究への重点的配分は重要。および数理系の基礎分野においては、上記のような交流施設こそが、いわば「最先端施設」に相当する。
4991	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24012	博士課程教育リーディングプログラム	このまま推進すべき	是非、日本国の発展のため、本プログラムを実施すべきである。とくに今後、国際社会において優位にたつ産業を我が国内にて創造していくためには、従来のような特定の領域に偏った教育ではなく、複数領域にわたる文理総合型の教育プログラムが必要であり、本施策にある「オールラウンド型」および「複合領域型」の教育プログラムを推進していくべきである。	資源の乏しい日本国の成長は人材育成に依存しており、博士課程教育を支援するプログラムは日本国にとって非常に有益である。日本国の発展を支える新たな産業創造のためには、本施策にあるような「卓越した専門性、広範な知識、豊かな教養、国際性、リーダーシップを備えた博士人材」を必要とし、そのような人材を育成するための本プログラムは必要不可欠である。特に、卓越した専門性だけでなく広範な知識と豊かな教養の獲得のため、複数領域にわたる文理総合型の教育プログラムが必要である。
4992	民間企業	20～29歳	経済産業省	27018	次世代照明等の実現に向けた窒化物半導体等基盤技術開発	このまま推進すべき	環境問題対策にもなる次世代照明を実現するためには、民間企業だけにその開発を頼るのではなく、政府主導で開発に力を入れていかなければならないものだと思います。LEDなどはテレビで取り上げられることもありますが、次世代照明の認知度はまだまだ高いとは言えないと思います。環境対策に力を入れることはもはや国の責務であり、本施策はまさにその実現に向けた技術の開発なので推進すべきものだと思います。	蛍光灯に代わる次世代照明LEDや有機ELは、高い発光効率を得られ、今後様々な分野で活躍するのではないかと思います。日本の最新技術の発展だけでなく、これらはエネルギー消費やCO2排出の削減に繋がり、その技術を継続していくことは、日本が環境問題に取り組んでいるということでもあると思います。照明は現代社会においてどこの家庭でも必ずあるもので、なくてはならないものですが、100パーセント次世代照明に切り替えることができれば、かなりの

							省エネになるはずで す。	
4993	民間 企業	30 ～ 39 歳	文部 科学 省	24169	我が国の宇 宙技術の世 界展開 -最 先端宇宙科 学・技術と人 材育成をセ ットにした新 たな海外展 開戦略-	このま ま推進 すべき	地球環境観測衛星網を構築 し、衛星データの利用促進を 図ることは必要であると考え る。	環境・エネルギー大国 戦略により推進される グリーン・イノベーショ ン施策の効果を全球的 に検証する手段を確 保する必要があると考 えるため。
4994	民間 企業	40 ～ 49 歳	経済 産業 省	27024	高効率水素 製造等技術 開発	このま ま推進 すべき	研究テーマは我国のエネル ギー政策・産業政策上、極めて 戦略的に重要なテーマで ある。実用化にあたってはパイ ロットプラントでの実績作り が重要であるため、初年度 以降も着実な予算措置が望 ましい。	エネルギー基本計画に 示されている化石燃料 高度利用(エネルギー セキュリティ)における 水素供給の安定化を 実現する上で極めて重 要な技術である。 大型分離膜量産技術 は極めて難度の高い 技術開発テーマである が、高度なナノマテリア ル技術を有する大学等 研究機関と石油精製・ プラントメーカーで協同 し、産学の知見を集約 可能な連携体制が構 築されている。
4995	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・ 公設 等)	20 ～ 29 歳	文部 科学 省	24141	特別研究員 事業	このま ま推進 すべき	これからを担う研究者を支 援、育成していく上で欠かせ ない事業であると考えます。 今の若手を育成していくこと で、将来世界に通用する研 究者が生まれ、日本の国力 を支えていくことでしょう。	博士課程(後期)に進 学し、研究者をめざす 者にとって非常に重要 な支援であります。 また、私は、現在、学 振特別研究員であり、 この支援のおかげで研 究をすることができて、 生活も支えられており ます。
4996	大学・ 公的 研究 機関 (独 法・ 公設 等)	30 ～ 39 歳	文部 科学 省	24164	高速増殖炉 サイクル技 術の研究開 発	改善・見 直しをし た上で 推進す べき	マスメディアでは地球温暖化 の危機が強く叫ばれるよう になってきましたが、一部の情 報誌等を除き、解決方策とい えば自然エネルギーの推進 や個人で節電を推奨するよう なことばかりが述べられ、原 子力の必要性はまだまだ国民 へ浸透していないように感 じられます。原子力、特に将 来のエネルギー安定供給を 生む上で重要な高速増殖炉 分野の施策について優先度 を高く設定することは、国民 の理解を得るという観点でも 重要と考えます。	同上
							RIビームファクトリー	

4997	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	文部科学省	24140	RIビームファクトリー計画の推進	このまま推進すべき	RIビームファクトリー,J-PARC,KEKB,SPring-8の4つの大型加速器は、いずれもそれぞれの分野で世界ダントツの性能を持ち、日本の宝というべきものである。ここで進められる基礎科学は日本の科学レベルを大きく進展させる。RIビームファクトリーでの原子核物理学の研究は、元素の起源と物質の基本を解明するとともに、さまざまな応用の可能性をもつ。現在よりもより多くの予算をとって運転時間を増やして推進すべきである。	は、原子核物理の分野では世界中の研究者の羨望を集める画期的な加速器であり、完成後すでにすばらしい成果を次々出している。世界中の研究者が共同研究を申し込んでおり、今後国外からの人的、資金的援助も期待できる。しかし、類似の加速器が米国、欧州、韓国などで計画されており、日本のRIビームファクトリーでは運転時間を増やして研究を徹底的に進め、彼らが追いつくまでに多くの成果を出さなければならない。
4998	大学・公的研究機関(独法・公設等)	40～49歳	経済産業省	27115	戦略的原子力技術利用高度化推進費補助金	改善・見直しをした上で推進すべき	革新的原子力技術の実用化に向けた研究開発に加えて、現行の原子力政策の再構築を行うとともに、当該分野の人材育成にも注力すべきである。人材育成に関しては、例えば、日本原子力研究開発機構に、原子力工学分野の大学院専攻課程を設置するような方式が可能であると考えられる。	原子力技術は、グリーン・イノベーション・テクノロジーの中核の一つであり、日本のリーダーシップの発揮が今後期待できる分野である。原子力は、個別分野の集積ではありえない、総合システム工学であるが、二十年以上にわたり、当該分野の技術者・研究者育成が軽視されてきたために、中核となる人材が払底している。この現状に鑑み、人材育成にも資源を割くことが望ましい。また、現行の高速核融合炉・再処理炉は古い設計原理に従って建造されたものであり、現行の実験炉は廃棄し、現在の材料技術の水準で再開発するのが、最終目標を早期に達成できるのではないか？
4999	大学・公的研究機関(独法・公設)	30～39歳	経済産業省	27112	地層処分技術調査等事業	このまま推進すべき	放射性廃棄物の処理・処分技術(ガラス固化、地層処分等)は必要不可欠で、これが欠ければ核燃料サイクルは成り立たないというクリティカルな案件です。そのため、使用済燃料再処理や地層処分技術に関わる施策については優先度を高く設定し、推進	同上

	等)						していただくことを要望します	
5000	大学・公的研究機関(独法・公設等)	20～29歳	文部科学省	24177	大強度陽子加速器施設(J-PARC)	このまま推進すべき	大強度陽子加速器施設J-PARCは日本の実験素粒子物理、ハドロン物理、原子核物理を担う重要な加速器である。日本の実験物理学分野の発展のためにもこの施設への支援は行っていくべきである。	日本の実験素粒子物理分野、ハドロン物理分野を担っている施設はJ-PARC、およびKEKBのみである。これら2つの施設は全く異なる実験を目指した施設であり、片方を無くすことは日本の素粒子、ハドロン物理の半分を削ることにひとしい。